

# 地域で学び、伝統や文化を次世代に引き継ぐ

## 加西市中央公民館



### 公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 公民館来館者の固定化
- 講座参加者や登録グループの高齢化
- 小中高生への啓発

取組

- 子ども達が楽しく参加しながら、いけば花、茶道、盆栽、和菓子作りなどの日本の伝統文化に触れる機会を創出
- 情報発信強化のため、ブログやFacebook、広報などを活用
- 託児付き講座の開催（子育て世代の参加促進）
- 主な利用者である高齢者に学びの場や健康に対する意識高揚を図る講座や教室を開催
- 地域の歴史や豊富な文化遺産を学び、伝えるボランティアガイド養成講座の開設

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 伝統文化に興味を持ち、生活の中に伝統文化が根差した。
- 子どもたちの講座参加人数が増加した。
- 学校・学年（年齢）を超えた交流や家庭では味わえない親子の触れ合いが体験できた。
- 子どもの送迎や親子教室に参加した保護者が大人向け講座に参加するようになった。

#伝統文化の継承 #高齢者の学びの場

#子ども教室 #親子教室 #託児付講座

都道府県名	兵庫県	公民館対象人口	16578人	インターネット接続環境	有
市区町村名	加西市	建物設置年月日	昭和57年1月10日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2239人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6225人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1644人	計 10108人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計 3人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 加西市社会教育委員会 )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( コミュニティセンター、ホール ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 加西市歴史街道ボランティアガイド、加西市茶道協会、加西市いけばな協会、あびき湿原保存会、加西市盆栽研究会 )				

### 加西市中央公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 0790-42-2151

H P <http://1.city.kasai.hyogo.jp/chuo/>

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

利用者が高齢者など一部の方に限られ、徐々に公民館離れを起こしている現状を改善するため、小学生やその保護者に焦点をあてた講座を開催し、すべての住民に開放され利用される「地域住民に親しまれる公民館」を目指す。

●子ども茶道教室、子どもいけ花教室、親子盆栽教室、親子しめ縄教室、キッズパティエ教室  
日本の伝統文化である茶道、いけ花、盆栽などについて、子ども講座又は親子講座として開催し、体験学習としてだけでなく、次世代への伝統文化継承の機会を創出する。

●歴史街道ボランティアガイド養成講座

10月25日（日）に観光まちづくり協会とタイアップして、加西市の歴史や豊富な文化遺産について、学んでいただくとともに、その魅力を伝えていただく歴史街道ボランティアガイドの養成講座を開催。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 子どもたちの講座参加人数が増えてきた。
- 日本の伝統文化に興味を持ち、生活の中にも伝統文化が根差してきている。
- 学校・学年を超えて交流や家庭では味わえない親子のふれあいが体験できた。
- 子ども講座の送迎や親子講座に参加した保護者が、大人向け講座に参加するようになった。

### これまでの取組全体による成果・効果

- 高齢者にとっては生涯学習の場としてだけでなく、仲間と出会い、集い、学んだ知識や技術を発信できる生きがいの場となっている。

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 学識経験者や社会教育や学校教育関係者等9名で構成する社会教育委員の会議を年間2～4回開催して助言や指導を受け公民館を運営している。
- 講座参加者からの聞き取りやアンケートで要望を聞き、次年度以降の講座について検証を行うとともに、新規、継続、改善等を検討する。
- 主催講座からの登録グループ化をすすめ、そのグループが地域で披露する機会などを見た住民が主催講座や登録グループに参加するなど理想的なサイクルが確立してきている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

子どもを対象とした講座を開催するにあたり、少子化の影響もあり、参加者の確保が難しい。学校に直接依頼し、全ての児童、生徒にチラシの配布をお願いしている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 公民館職員が**楽しく仕事を**する職場づくりを大切にしている。それが、利用者にとっても**明るく親しみのある公民館**づくりにつながる。
- 地域の**子どもから高齢者まで**すべての住民に開放された**気軽に立ち寄り、身近な地域で学ぶ**ことができる公民館づくりを目指す。
- 講座等の学習を通じて得られた知識や技術を**地域に発信**できる**生きがいの場**としての位置づけ。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

●学習指導要領が改訂され、「社会に開かれた教育課程」の実現がうたわれている。そこには、「地域の人的・物的資源を活用する」、「放課後や土曜日を活用した社会教育との連携を図る」などの方策があがっている。その実現のために、公民館が学校教育推進の一助になると共に、公民館利用者の活躍の場が広がり、世代間の相互交流・理解が深まるとともに、その活動内容も変わるのではないかと考えている。今後、小中学校を始め高等学校とも連携・協調を図り、実を上げていきたい。



# 子どもは地域で育つ地域は子どもで結ばれる

## 上富田町立生馬公民館



### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

- 学校の課題と公民館の課題の共有
- 乳幼児をもつ母親（父親）の居場所不足
- 管内の生馬小学校がH30にコミュニティ・スクール導入

#### 取組

- 保育所や幼稚園に入園前の子供と保護者の居場所
- 放課後の学習支援と居場所づくり
- 気軽に参加できる親子行事の計画と実施
- CS導入をきっかけに、学校行事とPTA行事と公民館行事を共有し、地域学校協働活動を実施。

### 取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 小学生とその保護者の世代を中心に、公民館の利用者が大幅に増加した。
  - 事業に参加した小学生が、中高生になってもサポートとして参加してくれることで、地域への参画意識が育っている。
  - 親子行事とPTA行事を協働で行うことで、保護者世代による地域の課題意識が育っている。
- # 人のつながり # 誰も見捨てない # 地域は子供で結ばれる

都道府県名	和歌山県	公民館対象人口	1938人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	上富田町	建物設置年月日	昭和52年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 400人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 30人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 232人	計	662人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 5人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	計	10人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 公民館運営委員会の設置 )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 学校から徒歩数分の近さを活かして、常に情報共有。通学合宿も毎年開催。 )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 生馬小学校、上富田中学校、熊野高校、NPO法人くちくまのクラブ、上富田町社会福祉協議会、上富田町教育委員会、おやじの会 )					

### 上富田町生馬公民館

OPEN 8:30

TEL 0739-47-2881



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 「おうまのひろば」（保育所や幼稚園に入園前の子供と保護者の居場所）  
毎週水曜日の午前中は、乳幼児と保護者の居場所として、開放されている。指導員と元保育士のボランティアが待機。申込みの必要はなく、固まったメニューも特に用意されていない。保護者はそれぞれのペースで仲間づくりを行い、子育ての悩みや不安を共有している。また、同事業の卒業生が、次の支援者として事業のサポートを行う風景も見られている。子育てや地域の課題に対して、主体的に関わっていく姿勢が育成されている。
- 「寺子屋教室」（放課後の学習支援と居場所づくり）  
毎週水曜日の放課後は、生馬小学校の児童の約半分（60人程度）が「ただいま」と公民館に帰ってくる。硬筆教室に参加する児童。待ち時間の間、大教室で卓球やカプラなどで自由に遊ぶ児童。図書室で読み聞かせをしてもらう児童。過ごし方は様々である。迎えにくる保護者にとっては、保護者同士やボランティアスタッフの方々との情報交換の場にもなっており、地域のネットワークを形成していく大きな要素となっている。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 公民館利用者が増加。特に小学校での親子の参加が増加している。
- 公民館行事で知り合った親子の繋がりが、卒業後も地域行事への参画のきっかけとなっている。

### これまでの取組全体による成果・効果

- 寺子屋教室に通わせたくて、生馬小学校を選択する保護者もいる。人口減少が課題の中で、生馬小学校はここ数年、児童数の横ばい状態が続いている。



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 学校関係者、PTA関係者、父母子ども会関係者、自治体関係者による公民館運営委員会を年間3回開催。
- 運営委員会の中から6名を選出し、広報委員会も設置。事業の広報とともに、成果の検証も行っている。
- 公民館を主体とする地域学校協働活動については、生馬小学校学校運営協議会内でも総括を行っている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 公民館行事への理解は大きい地域であるが、各事業のボランティアスタッフの確保に苦労したことはあった。かつて事業に参加された児童や生徒、その保護者等にターゲットを絞って声かけすることによって、趣旨を理解された協力者として人材の循環がされている。また、週3日公民館に勤務する生涯学習指導員の人脈やコーディネート力が、事業の広がりや深まりを大きくしている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 児童が関わる事業に関しては、距離の近さをフルに活かして、情報交換を密に行っている。学校には登校しにくい児童でも、公民館行事には参加する例もある。学校だけでは体験出来ない教育環境での児童の様子を、随時学校にも伝え、情報共有を行っている。
- 「地域の子供は地域で育てる」を合い言葉に、子供が「色々なタイプの大人」に出会えるように事業を企画している。参加する保護者や地域の方も役割を分担し、「お客様」を作らない環境を心掛けている。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- これまで個別に関わってくれていた団体の「抱えている人材」同士が出会える仕掛けを作り出していきたい。例として、社会福祉協議会がグループしている地域の高齢者と、管内の小学生とその保護者の出会いの場などを作り出していきたい。公民館を拠点にした3世代交流のような場を作り出すことで、高齢者には人生の経験を伝える場を。小学生、保護者にとっては、生き方のロールモデルを手に入れる場を作り出していきたい。



# 地域にふれあいを育み、地域愛を咲かせる公民館！



育成部講演会の様子



新春ウォーキング大会の様子

## かつらぎ町立見好公民館

### 公民館の取組概要・経過

- ・見好公民館は現在、58名の運営委員と3名の本部役員と館長、主事並びに管理人を併せての計64名で運営。
- ・運営委員を4部制（総務部・体育部・育成成人権部・文化部）に分けて事業展開を行う。
- ・総務部以外の部ごとに主催事業を開催。
- ・公民館と地元小学校及び育成会と連携して、講演会開催
- ・新春ウォーキング大会は地区住民の恒例行事となっており、毎年いろんな年代層の方が参加し、盛況である。
- ・新規事業として隣接する2公民館との連携事業を計画

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・見好公民館では、公民館が一方的に地域の方へすべてを与えるのではなく、地域の活動を地域が選出した運営委員の方と一緒に作りあげていくことを目標としています。そうすることで自分たちの地域に関心を持つことにつながると考えます。
  - ・世代を超えた交流を目指し、小学校を中心に三世代の交流を図る。（コミュニティスクールへの参加、協力）結果、地域全体での子育て支援に繋がると考えます。
- # 地域愛

都道府県名	和歌山県	公民館対象人口	1602人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	かつらぎ町	建物設置年月日	昭和54年4月1日	来館者利用可能PC台数	なし	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 329人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1620人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1710人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 394人	計	4053人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	2人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 御礼・利息 )					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 建物北側すぐ近くに川が流れていて、見晴らしのいい公民館です )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 四邑公民館・天野公民館・渋田小学校・人権擁護委員かつらぎ部会・かつらぎ町民生児童委員協議会・かつらぎ町更生保護女性会・かつらぎ町防犯自治会渋田分会・かつらぎ町教育委員会・各自治区					

### かつらぎ町立見好公民館

OPEN 8:30~22:00  
TEL 0736-22-6917

H P \_\_\_\_\_  
SNS \_\_\_\_\_



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ・各部主催の行事と公民館講座に特に力を入れています。
- ・文化祭作品展（文化部）講演会（育成人権部）、スポレク行事【グラウンドゴルフ大会・新春ウォーキング大会・ソフトバレーボール大会】（体育部）を開催する際、自治区に協力を申し、参加を募っています。特に体育部の行事では地区対抗で競技してもらため、運営委員の体育部員が声掛けしてくれています。
- ・公民館講座では、地域住民の方の興味のある講座を提供させていただいています。講座で作成した作品を文化祭作品展に出展していただく流れを作っています。
- ・図書室を復活させて、地域の方の寄贈本による「みんなの図書コーナー」を開設し、行事がない時でも自由に公民館へ足を運んでいただいています。



グラウンドゴルフ大会の様子（体育部）

## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

コミュニティスクールの活動に賛同し、地域ぐるみでの子育て支援に協力することで、小学校とはもちろん、小学校へ出入りされている地域住民の方と話す機会が増えて交流ができていると思います。



朝の見守り隊活動の協力（育成人権部）

### これまでの取組全体による成果・効果

行事を行う際、公民館からの案内だけでは参加者は集まりませんが、近隣の顔なじみの方からのお誘いによって参加者はたくさん集まってくれます。

近くに住んでいても、なかなか顔を合わす機会が薄れている昨今ですが、公民館行事に参加することで地域住民の方との親睦につながっていると思います。

自治区に助けていただくばかりではなく、自治区主催の敬老会の運営の手助けもさせていただいています。そうやって地域と公民館の距離を縮められていると考えます。



敬老会の様子

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

年に一度運営委員総会を開催し、事業報告や会計報告、次年度の事業計画を協議しています。総会では自由に発言を出してもらい、運営方法の改善に繋がる意見もありました。地域の方の意見を聞くために、公民館内に「投書箱」を設置しています。しかしなかなか投書する方は少ないので、今後はアンケートを取るなど、地域の方の声を聞く手法を検討中です。なお、本部役員会を毎月一度開催し、随時運営等について相談しています。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

地域の方の健康増進の一環として、スポレク行事を継続していますが、地域の高齢化に伴い、ソフトバレーボール大会などのスポーツ競技への参加者が少なくなってきたり、大会の開催に苦労しています。そのため6人制から4人制にルールを変更するなどしなんとか継続しています。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

見好公民館では、公民館としての役割である「集う・学ぶ・結ぶ」を意識し、地域の人に「集う」場を提供し、集まった人たちが「学ぶ」機会を得ることができる講座や講演会を実施し、その中で色々な世代の人と交流し人と人とを「結ぶ」機会を持ってもらうことを大切にしています。また、日々の子育てや仕事で忙しい方に、息抜きの場として公民館を利用してもらえる、地域の誰でも利用できるオアシスとなれることを目標としています。



文化祭作品展の様子（文化部）

## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

これからは、見好地区だけに収まらず、近隣の公民館である四邑公民館、天野公民館との共催事業をすすめていきたいと思っています。というのが、十年ほど前に小学校の統廃合により、四邑地区、天野地区の子ども達が渋田小学校へ通ってくれているので、今後は3館内の地域住民の方々での交流を図れたらと考えています。そのスタートとして地元の小学校と3つの公民館の共催事業として講演会を企画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今後も地区外交流や世代間交流が図れる事業を継続したいと考えています。



公民館講座「子ども将棋教室」の様子



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- ・ネット社会により住民同士の関係性が薄れていることを危惧
- ・近年新興住宅地やアパートが増加（地域の目が届きにくくなっている）

取組

- ・地域の自然遺産を活用した地域総合学習授業
- ・おう穴まつり ・大村地区大運動会
- ・公民館のロビーを開放し、皆が気軽に立ち寄れる居場所づくり
- ・「大村ふれあい喫茶」の開設
- ・小中学生によるクリーン活動
- ・通学時の防犯パトロール、集落ごとの防災マップ・通学路防犯マップの作成
- ・地区の高齢者によるしめ縄作り教室
- ・地区の食育推進員による料理教室

取組による成果や効果、大切にしていること

- 上記の取組から、以下の効果を生み出すことができた。
- ・地域を知ること、ふるさとへの愛情と誇りをもてた。
  - ・地域や、おう穴群の保全活動により、住民の環境美化意識が向上（全国河川功労者賞、国土交通大臣賞など多数受賞）
  - ・地区内外から、大村地区への来訪者が増加した。
  - ・公民館の利用者が増加した
- #誰もが参加 #みんなでつくる #ふるさと大村 #住民に一番近い公共施設としての公民館 #赤波川渓谷のおう穴群

都道府県名	鳥取県	公民館対象人口	1110人	インターネット接続環境	有
市区町村名	鳥取市	建物設置年月日	昭和59年6月	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> 市長部局 (補助執行による)				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2445人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 627人 ( ロビー (大村ふれあい喫茶など) )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2238人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 70人	計 5380人		
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	計 4人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 地域の仲間づくり事業、人権啓発推進事業、文化伝承事業、環境整備事業 )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 農産加工室が併設されている ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 大村地区まちづくり協議会 (防犯パトロール大村、大村いきいきサロン、大村エコクラブ、大村地区体育会、大村地区少年育成会、食育推進員大村地区会、赤波川渓谷おう穴群ガイドクラブ、交通安全協会用瀬支部大村分会、もちがせ保育園大村保護者会、用瀬小学校大村保護者会、千代南中学校大村保護者会、大村地区文化振興会、他)				

鳥取市立大村地区公民館

OPEN 8:45~17:15  
TEL 0858-87-2884

H P <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/omura-1/>  
SNS .



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

情報社会、ネット社会が進んでいること、新興住宅地やアパートが増えてきたことにより、地域の住民のつながりが薄れてきていることを地域の課題ととらえ、子どもから高齢者まで、世代を越えて地域が一丸となれるような取り組みを行っている。

毎年6月に開催する「大村地区大運動会」では、地区の中学生が運営役員となり、盛大に行われている。それぞれが役割を持つことで、主体的に事業に取り組むようになるなど、学校からも生徒の成長につながっているとの声がある。

また、地域の小中学校と連携をとり「地域総合学習」で、大村の自然遺産である「赤波川溪谷のおう穴群」の歴史について学び、「おう穴まつり」では様々な体験を通して「地域愛の醸成」に繋がっている。同じく「赤波川溪谷のおう穴群」の草刈りや流木撤去などの環境整備活動の為にボランティアを募り、毎年70人ほどの参加者で整備を行い、作業後には「紅葉をめぐる会」などの事業を開催して住民の交流と絆づくりに努めている。

「おう穴まつり」では、地区内外の幼児から高齢者まで約100人前後が参加してヤマメのつかみ取りや沢登りなどの野外体験活動を行っている。10年以上継続しているが、毎年地区内外からの参加者が増加しているなど、他地区との交流にもつながっている。

子ども達は、様々な事業を通じた地域の団体との連携によって、世代間交流の場を増やし、地域の輪も広がっている。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・ロビー開放により公民館が「子どもの居場所」となり放課後にロビーで宿題をする子供の姿が増えた。
- ・環境美化ボランティア活動に参加することで、集落単位を越えた地区単位での一体感が生まれた。
- ・上記の取組を継続することで、住民の環境美化意識への高揚につながった。（地域のごみの減量に成功）
- ・地区運動会は学校側も積極的に関わらるようになり、世代間の交流が増加した。

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・世代間交流によって、地域コミュニティの広がりや郷土愛が醸成されている。
- ・公民館の来館者が増えた。（子どもから大人まで住民の交流の場となっている）



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

現在「大村地区公民館運営委員会」は、「大村地区まちづくり協議会」の組織内に位置づけしており、公民館事業とまちづくり協議会事業を併せて検証する為に、毎年度当初「大村地区まちづくり協議会」の代議員会に諮り、前年の反省点を開示して出来るだけ多くの意見を聞き次年度の事業を決定している。（代議員会に上程するための議案を理事会で検討し、理事会は年間3回程度開催している。理事会に提案するために毎月三役会を開催し協議している。）

## 新たに、また、継続して取り組みを行う上で、苦労した（している）こと、どう乗り越えたか（ようとしているか）を教えてください。

大村地区の一体感を醸成することを目的に、毎年、当地区を代表とする大きな事業（大運動会・おう穴まつり・環境整備事業）を継続しているが、これには多くのボランティア役員を動員する必要がある。しかし、ボランティアに参加する方々の平均年齢が高くなり負担感が増えていることが大きな課題となっている。そこで、安全管理上必要最低限な人員以外のボランティアへの比重を下げた事業内容の見直しを図っている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

「つどう・まなぶ・むすぶ」のスローガンのもとに、地区住民が気軽に立ち寄れて、よもやま話にくつろげる「**住民に一番近い公共施設**」でありたい。

## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

少子高齢化や人口減少の傾向に歯止めはかからないが、地区の「絆」づくりの一助となるため、サークル育成及び各種行事や講座の対象年齢を絞って、一つのまとまりを大切にグループ作りを進めたいと考えている。

また、現在大村地区には、住民の拠り所となる防災拠点が無く、既に避難場所に指定されている公民館がその拠点となるべく、昨年閉園された旧大村保育園跡地に公民館の移転を要望している。旧大村保育園跡地に隣接している興徳広場は災害時の指定緊急避難所として指定（ドクターヘリのヘリポートとしても指定）され、跡地の一部には消防団の屯所が移転された。公民館が地区の総合防災拠点となることによって、地域の防災力の強化や地域コミュニティのさらなる活性化を図りたい。

# 和みのふるさと尚徳



## 米子市尚徳公民館

### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

●和みのふるさとづくり ●親しみのある水辺環境づくり、●安心安全な地域づくり、●県立米子高校のコミュニティ・スクール導入

#### 取り組み

●「尚徳和みのロード花植え」・年に2回春と秋に、小学校と連携し地域ボランティアの指導により180個のプランターに花を植え、公民館周辺の約450メートルの道沿いに設置し水やり当番を決め、地域住民を中心に花の維持管理に努めている。また、活動について各種大会や実践発表の場で報告し環境美化の啓発に努めている。●「農業体験指導」・小学校で地域ボランティアが田植えと稲刈りの指導を通じて食べ物の大切さを伝えている。●「尚徳公民館祭」・尚徳音頭を地域住民みんなで踊り交流の場となっている。●高校生が地域づくりに参加、●防災防犯の意識啓発、●米子市法勝寺川水辺の楽校づくりに参画

### 取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取り組みを通じて、以下の成果を生み出すことができた。

●和みのロードを通して就学前の幼児から小学生までの子どもたちと地域ボランティアとの世代間交流が深まった。

●地域の子どもの育成に関わる多様な団体が参加することで、団体相互の連携が進み、和みのロードは親水を目的とした水辺の楽校づくりへと波及した。

●高校生が制作した紙芝居を活用し、地域の防災意識を高め、尚徳地区自主防災組織が設立された。

#世代間交流 #連携 #防災 #親水

都道府県名	鳥取県	公民館対象人口	1609人	インターネット接続環境	有
市区町村名	米子市	建物設置年月日	昭和55年12月	来館者利用可能PC台数	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 400人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5054人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2042人	計	7496人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	4人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 公民館運営協議会 )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 学習講座・教室の開催のほかに地域の実情に応じた専門部を設け地域住民による地域課題の解決を支援する。 )				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JA、老人保健施設				

### 米子市尚徳公民館

OPEN 8:30~17:00

H P

T E L 0859-26-3317

<http://gozura101.chukai.ne.jp/p/page/kouminkan/syoutoku/>





**特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。**

事業名：「和みのふるさとづくり」

「和みのふるさとづくり」では「尚徳和みのロード花植え」をきっかけにして、公民館周辺の小学校、保育園、老健施設、JAなどと尚徳和みのロード運営委員会を設け、地域一体になって子どもから大人まで活動できるよう、平成23年度から取り組んでいる。

「尚徳和みのロード花植え」を通じて各種団体や保育園、高校、老健施設等との連携が進み、子どもを地域で育てる様々な活動に繋がっている。

●「尚徳和みのロード花植え」

・地域を行き交う人々の笑顔があふれるまちづくりの推進を目的とする。また、地域住民の指導のもとに保育園児、小学校児童と一緒に花植えを行い、地域一体で交流する。

・花植えを通じて小学生などに生き物の命の大切さを学ぶ機会を設ける。

●「農業体験指導」

・小学校で地域ボランティアが田植えと稲刈りを指導する。

●「尚徳公民館祭」

・尚徳音頭を地域住民みんなで踊り交流の場となっており、高校生との交流にもなっている。



120～200人が関わり、180個のプランターに花を植え、公民館周辺の沿道450メートルの環境美化に取り組む。子どもが自主的に水やりをするなど生き物を大切にしている心が育まれている。

**公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）**

尚徳和みのロード花植えを通じて、以下の成果を生み出すことができた。

●和みのロード花植えを通じて就学前の幼児から小学生までの子どもたちと地域ボランティアとの世代間交流が深まり、小学校、PTA、民生児童委員協議会、地区子ども会など地域の子ども育成に関わる多様な団体相互の連携が進んだ。（参加団体数 13団体）

●和みのロード花植えを継続することにより、区内を流れる法勝寺川への環境への関心につながり、水辺の親水や環境学習の場の創出を目的とした「水辺の楽校」づくりへ波及した。

●コミュニティスクールに取り組む鳥取県立米子高校の生徒が、地域の水害の歴史を題材に制作した紙芝居により防災教育に取り組んだ。

●公民館祭では、土砂災害の発生メカニズムの紹介などの啓発に取り組み、地域の防災意識を高め、尚徳地区自主防災組織が設立された。



昭和9年「室戸台風」で法勝寺川と小松川が氾濫、取り残された老人を救うために福光巡査が殉職した話を後世に引き継ぐために尚徳公民館で紙芝居にすることになり、米子高等学校が協力

**取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。**

●公民館運営審議や各種団体の役員会、運営委員会などで公民館の活動を報告し、成果を確認のうえ次年度の計画につなげている。

●地域住民の声を聞くためにアンケートを行い、学習内容についてのニーズを取り入れるようにしている。

●尚徳公民館運営審議会において、「尚徳和みのロード花植え」について事業を検証し、必要に応じて事業の見直しを行っている。

●各種団体の役員会においても、「尚徳和みのロード花植え」について意見を聞き、事業の改善に努めている。

●成果指標 「参加団体数」13団体

**新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。**

●多くの参加団体に関わることで役割調整が必要になるが、運営委員会の幹事が中心となり円滑に調整ができるようになった。

●花の水やりなど継続的に世話を行なう必要があり、運営委員会で話し合い参加団体が分担して行うようになった。

●地域住民を指導者（講師）とし、参加しやすい環境を作っている。

●身近な生き物（花）、身近な環境（法勝寺川）など地域住民が興味を持つような学習を計画し取り組んでいる。

**公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）**

尚徳地区においては、公民館を活動拠点とする各種団体のほかに、高校、国・県・市など様々な団体・学校とも連携して地域みんなで学び、次の世代を担う子どもたちをみんなで育て、支え助け合いの「和みのふるさと尚徳」をこれからも大切にしていきます。



**最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。**

「和みのふるさとづくり」では、地域課題に高校、国・県・市との連携を深めて、地域課題の防災啓発に取り組むとともに、今後、水辺の楽校が整備されることから、河川についての環境、災害、利用など多面的な学習に取り組むとともに、下記の取り組みを継続していく。

「尚徳和みのロード花植え」は、今後も運営委員会で各種団体や施設と連携しながら活動を維持し、地域がより活性化するように努める。

「農業体験指導」は、今後も継続して農業・食の大切さを子どもに伝える。

「尚徳公民館祭」では、尚徳音頭を子どもから高齢者までと一緒に踊り世代間交流の場にするとともに、高校生との交流の場としたい。



水辺の楽校では、地域が一体となって、昆虫・水生生物等の採集や観察による自然体験活動の実施や水質調査、外来生物調査などの環境学習、交流イベントや清掃活動を通じた「地域交流体験」など様々な取組を行う予定です。

# 「人を育て、郷を育てる」公民館



25周年柿まつり

## 浜田市立 白砂公民館

### 公民館の取組概要・経過

県内有数の西条柿の生産地ではあるが、人口減少に伴う生産人口の減少、地域内での世代交代の時期、まちづくりにつながる産業の創出の必要性を感じ、以下取組を行っている。

- 西条柿や魚を活用した地域学校協働活動の推進
  - ・西条柿や柿渋、柿酢のふるさと学習への活用
  - ・浜田商業高校との連携協働による課題解決授業の取組
- 若者世代を巻き込む家庭教育支援の推進
  - ・HOOP! (浜田親子共有応援プロジェクト) の活用
  - ・若者世代の声を活かした事業実施
- 地域の景観活用とまちづくりへの取組
  - ・日本海を臨む景観の保全
  - ・6次産業の創出とまちづくりへの学び

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・生産者の活力や生産意欲の向上、後継者を含む人材育成
  - ・ふるさと学習に取り入れたことによって、西条柿の新たな魅力発信と、地域の思いを子どもたちが感じる場に
  - ・若い世代のつながりの拡大
  - ・事業等への積極的参加へのつながり
  - ・景観保全の取組と新たな事業への拡大
- # 聴く # 伝える

都道府県名	島根県	公民館対象人口	266人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	浜田市	建物設置年月日	平成11年2月	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1711人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 220人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 864人	計	2795人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人	<input type="checkbox"/> 非常勤	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 運営推進委員会を設置 )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 設置の利便性により島根県大田市以西~山口県の広域利用が多い )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 白砂まちづくり委員会、リハビリテーションカレッジ島根、島根県立大学、島根県立浜田商業高等学校、浜田市立三隅小学校・中学校、三隅保育園、道の駅ゆうひパーク三隅、J A、神楽社中、行政等々	

### 浜田市立 白砂公民館

OPEN 午前9時から午後9時  
TEL 0855-32-1288

H P  
SNS

<https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1001000002112/index.html>

<http://matizukuri.herecall.jp/shirasuna/kouminkan/>

<https://www.facebook.com/shirasunamatidukuri>





## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### 【特産西条柿と水産都市浜田の魚を活用した事業】

島根県屈指の西条柿産地を活かした活動を柱にしました。市町村合併後は、魚食普及も併せ「食」を通した小・中学校のふるさと教育や高校の課題解決学習の推進

- 学校での学びにおいては生産者を前面に出し、その思いを伝える
- 島根県立浜田商業高等学校との連携協働により、課題解決型学習の中で柿を生かした食品開発に取り組み。高校生の学びと思いを大切にするとともに、生産者や地域住民とのつなぎ役を担う
- (ポイント) ・生産者を前面に出す(地域の人を登場させる) ・学校の取り組みを地域に伝える
- ・補助事業後も継続するねらいを持つ ・人口の少ない地域なので大勢の集客を狙わない

### 【家庭教育支援による次世代の人づくり】

当館エリアで世代交代の時期を迎えた。島根県の「親学プログラム」を基盤に浜田市独自に作成した「HOOP!...浜田親子共育応援プログラム」を活用した家庭教育支援の推進

- 地域の様々な活動を通して、保護者世代の顔見知りの関係づくりの場を設定
- HOOP!を活用して、保護者から聞き取った声を事業に反映
- (ポイント) ・子育ての悩みを「HOOP!」のプログラムでほぐす ・行政や専門機関への橋渡しに徹する
- ・保護者が笑顔になって帰れるようにすること ・若手世代を無理なく参画者へとぎざうこと

### 【地域の景観活用からまちづくりの取組へ】

景観の保全や住環境保全に取り組むことで、観光や産業の創出とまちづくりへの機運醸成

- 関係機関と連携した、日本海とJRの重なる撮影スポットの環境保全活動
- 有害鳥獣駆除の人材育成と、学び・知識の循環に向けた働きかけ
- (ポイント) ・地域住民だけでなく、関係者を巻き込む仕掛け



つながる事業終了後も地域で継続



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・全国からの注目により西条柿の認知度が高まり、生産者の生産意欲向上につながった
- ・西条柿のよさを子どもから地域住民までが再認識でき、その柿酢づくりや柿渋の活用にもまで取り組みが広がった
- ・保護者世代からの活動の提案や、事業への積極的な参加が増えた
- ・まちづくりへの意識の高まりや、関係機関との連携のきっかけができた

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・外部の協力(地域資源の活用：医療・大学・行政等)で小さな拠点ができた
- ・地域で目指すところが定まり地域の協働への理解が深まった
- ・話し合いによるまちづくりを進めてきたことで、そのノウハウを地域が体得しつつある



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・事業評価アンケート(自由記述)や聞き取りでPDCAにつなげる
- ・事業推進者、ボランティア等と振り返り、意見情報交換を設けること
- ・運営推進委員会において、適宜、相談や審議を行う

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・事業の必要性を十分に理解してもらうために運営推進委員会とともに、まちづくり委員会の同意が必要なこと
- ・意思決定や合意形成を図る会議への参加者調整(予定を配慮して会議開催を行うこと)
- ・取り組みを持続可能にするため、事業の計画性と上手なインターバル及びインターバル間の声かけ

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

- ・話をよく聴くこと
- ・地域のひと・もの・ことへの感謝の気持ちを常に持つこと
- ・感謝の気持ちを言葉で伝えること
- ・地域のひとの頑張りを伝える側になること
- ・木を見て森を見ずにならないこと
- ・アンチ公民館の意見を真摯に聞くこと



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・誰もが気軽に立ち寄りやすい場所にしていきたい
- ・地域の「〇〇したい!!」を叶える場所にしたい
- 【仕掛けとビジョン】
- ・西条柿関連事業では、産学官のデータ実績を伴う産業振興(西条柿は健康食品)
- ・Iターン、Uターンの奨励で後継者づくりと受け入れ側の人権意識の高揚
- ・コロナ禍から集わなくてもつながる仕組みづくり(リモート事業の推進)
- ・性差なき魚料理名人の育成



HOOP!(メディアで子育て大丈夫?)

# ネットワークを広げ、持続可能な学びのまちづくり

大田市立 中央公民館



## 公民館の取組概要・経過

・地域の人口減少、若者の流出、高齢化の進展に伴い地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透等により人々の心をつなぐ「絆」「活力」が失われつつある。

### ○大田JOいんつ♪

- ・中高生の地域活動を支援
- ・主体的な活動の展開と地域課題解決の取組へ

### ○親子自然たんけん隊「かっぱの川遊び」

- ・地域にまだ知られていない自然豊かな遊び場の発見
- ・親子交流やネットワークづくりの機会の提供
- ・専門家による自然環境と生育する生物の紹介
- ・中高生地域活動グループ「大田JOいんつ♪」によるスタンプの企画・実施やボランティアサポーターとしての活動

### ○歴史探訪委員会

- ・地域の遺跡についての学びと後世へ伝えるための取組

## 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・子どもたちのコミュニケーション能力、対人関係能力の高まりと、ふるさとへの愛着と誇り
  - ・中高生が自分たちで考えたとともに、大人を巻き込む
  - ・参加者が楽しみ、リピーターを生み出す
  - ・中央公民館の歴史講座の取組が市内に拡大
- #つながりづくり #ネットワーク #集い楽しむ #居場所づくり

都道府県名	島根県	公民館対象人口	11503人	インターネット接続環境	有
市区町村名	大田市	建物設置年月日	昭和38年11月10日	来館者利用可能PC台数	2台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2096人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 2096人			
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計 2人			
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 人権研修 )				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 貸館業務はまちづくりセンターの業務、館を持たない中央公民館は、エリア全てを範囲として自由に活動している )	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 大田まちづくりセンター )			
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> その他	
島根大学、島根県立大田高校、大田小学校、川合小学校、久屋小学校、第一中学校、NPO緑と水の連絡会議、天領さん実行委員会、大田市、大田市教育委員会、大田まちづくりセンター					

## 大田市立 中央公民館

OPEN 8:30~17:15

TEL 0854-82-6630

HP

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ・中高生地域活動グループ「大田JOいんつ♪」は、様々な体験活動を通し、対人関係能力や社会性を身につけ、子どもたちを地域総がかりで育てるよう取組み、ふるさと・地域に愛着を抱き、将来の地域を支える人材を育成する循環型「絆」社会の構築を目指す。
- ・親子自然たんけん隊は、親子での野外体験を通して、自然の豊かさや大切さを感じるだけでなく、親子の交流や親世代のネットワークづくりのきっかけにもつながるように取り組んでいる。単館ではなく、近隣の公民館と合同で開催することにより、より広域の交流ができる。この事業にも「大田JOいんつ♪」がボランティアとしてかかわるとともに、スタンプの企画・実施に当たっている。
- ・歴史探訪実行委員会では、地域で忘れられそうな遺跡についての学びをきっかけに、本にまとめ、看板を設置し、フィールドワークを展開しながら、地域の歴史を後世に伝えることに取り組んでいる。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・「大田JOいんつ♪」では、コミュニケーション能力や対人関係能力を高めながら、故郷に愛着と誇りを持ち、地域・人とのきずなを深めることができている。
- ・中高生が主体的に取り組むとともに、地域の大人ともつながり新たな活動が生まれてきている。
- ・公民館だけではなく、各種団体との連携を図った取組につながっている。
- ・歴史講座は市内に拡大するとともに、合同での開催につながった。

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・地域での体験を通して、ふるさとへの愛着と誇りを醸成するとともに地域課題を知ることができる。



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

年度末に、事業ごとの振り返りを担当職員が行う。事業の成果と課題、次年度への取組をまとめたものを公民館運営委員会（有識者、地域の代表者等で行政が委嘱している）で事業評価をおこなっている。得られた意見により次年度の事業を組み立てている。公民館活動に地域の子どもが関わる場を提供していること、公民館が「核」となり学びを通しての「つながりづくり」に視点を置いていることも評価されている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

生涯学習から社会教育へ変遷した過程が苦労したことである。その際、市内全館（7館）合同で公民館事業として一丸となり、有識者から話を聞く機会を設けて勉強会をして検討し、取り組んだ。ほかにもいろいろ苦労したことはあるが、そのたびに市内全館で意見を出し合い、検討して、乗り越えている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

**つながりづくり**を続けていくことが地域を支え、人材を育成することと思っている。一緒にいて楽しいと集える、やって楽しいことを続けることが社会教育だと思う。  
楽しいと思うことを地域に還元できれば、それも社会教育だと思う。  
子どもたちが、こうしてみたい。やってみたいということがあれば、まず「やらせてみよう」と考える。「大田JOいんつ♪」で、自分たちにできることはないかと考え、子ども用マスクが品薄だったコロナ禍の中、児童クラブの子どもたちにマスクを寄贈することを実践したことは、公民館の誇りである。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・学校と地域の連携について、ふるさと教育を実施する中で、学校でふるさとの何を学ぶのかを地域はあまり知らない。もしも、学校で学ぶふるさと教育の成果を地域に還元できれば、地域がそれを受けて反応したり、実践したりができるのではないかと考える。
- ・市内にある公民館全館（7館）で広域的に事業に取り組みたい。よい事業だと、地域とのかかわり、参加する大人のかかわりが増える。そうすることで、市全体を盛り上げていきたい。
- ・海の子が山へ行き、山の子が海へ行き、自然を体験することで、ふるさとの再発見や環境保全に関することなど学びの場を広げていきたい。



# いつでも、誰もが、 気軽に集える、つながる公民館

## 岡山市立高松公民館

### 公民館の取組概要・経過

朝ラジオ体操&OKAYAMA!市民体操

きっかけ

・平成25年度に実施した主催講座の、健康のヒケツ講座「正しいラジオ体操講座」から始まり、現在まで継続

取組

- ・ラジオ体操第1・第2とOKAYAMA!市民体操を実施。
- ・9時から公民館駐車場で実施。平均して24名程度参加。
- ・師範は、北市民健康づくり高松会議メンバーと公民館職員。
- ・体操後は、出席カードに参加証明のスタンプ押印。
- ・当初は、庄内・加茂学区の地域住民が中心だったが、期間限定で出前講座として同時刻に、各小学校区（高松城址公園、造山古墳、吉備津神社）に向いて体操を実施。
- ・3月は、近隣の幼稚園児・保育園児も参加。

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・地域住民による自主的な体操グループの立ち上げ
  - ・岡山市の事業である「おかやまケンコー大作戦」のポイント対象事業となり、参加者が増え、公民館利用者も増加
  - ・コロナ禍の中での健康づくり、人とのつながりづくりの継続
  - ・顔なじみになった方との会話を楽しむことや、元気な表情で自分のできる範囲で体操ができることを大切にしたい。
- #自主活動グループの立ち上げ #仲間づくり #健康増進 #継続 #出会い #地域デビュー #声掛け #笑顔



都道府県名	岡山県	公民館対象人口	17452人	インターネット接続環境	有
市区町村名	岡山市	建物設置年月日	昭和55年6月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 10932人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 25856人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2644人	計	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 4529人	( 図書利用、視察・見学等 )		43961人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 )		4人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 高松公民館運営委員会 )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input type="checkbox"/> その他 ( )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター )				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 造山古墳や吉備津神社、高松城址などの歴史的遺産に囲まれ訪れる人も多い。地域住民の生きがいの場、仲間づくりの場、情報発信の場として、多くの住民が利用し活動する「地域に開かれた公民館」として活動している。 )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 県立高松農業高等学校、市農林水産課、市環境事業課、市女性が輝くまちづくり課、北市民健康づくり高松会議(健康市民おかやま21)、造山古墳蘇生会、高松歴史を楽しむ会、高松城址保興会、大崎文化歴史保存会、高松パソコン倶楽部 )				

### 岡山市立高松公民館

OPEN 9:30~21:00 (日曜17:00)

TEL 086-287-2057

H P <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000011188.html>

SNS <https://www.facebook.com/TakamatsuKouminkan>



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### 1 歴史文化遺産の学びづくり

令和2年度で11年目を迎える「吉備探訪」講座は、毎回多くの受講生が参加する主催事業の一つである。（全8回、座学・フィールドワーク各4回）この講座を開催することで、地域の文化歴史遺産の伝承や新たな地域発見をしている。

公民館に入ると、正面にガラスのショーケースがあり、備中神楽面や撮影された地域の風景写真など、地域の文化遺産等を展示するとともに、県立高松農業高校生による園芸セラピーの取組発表や、年間を通じてクラブ講座で制作した数々の作品展示、地元小中学生・高校生の研究発表など、地域の学習成果の総合的な発表の場として機能している。

### 2 共生のまちづくり

今年で18回を数える「食と環境・復興フェア」は、公民館行事の中でも最大級のイベントで、公民館と地域諸団体が協働して企画運営を行い、参加者が各種測定やスタンプラリーでクイズを解くなどの体験型・巡回型の行事であり、参加者は食と健康の大切さについて認識を新たにしていく。平成23年東日本大震災発災後、「復興」を冠に追加して、遊休品等のバザー販売の売上げや各販売ブースの売上げの一部を義捐金として送っている。岡山市北保健センターをはじめ、北市民健康づくり高松会議に所属する多くの地域諸団体（健康市民おかやま21）の協力を得て毎年開催している、地域力の集大成の行事である。

### 3 防災力を高める地域づくり

各連合町内会では、安全安心ネットワークを中心に自主防災組織があり、毎年、町内会単位で工夫された防災訓練を実施しており、多くの地域住民や学校園の児童生徒が参加している。そういった個々の学習成果の発表等の場として、高松公民館が「防災発表会」を開催し、各小学校区の訓練の成果・課題等の発表、中学校区単位での防災意識を高める取組など、お互いに学びを深めている。また、高松公民館においても、HUG（避難所運営ゲーム）やハザードマップの見方、非常持ち出し袋の作り方など、様々な防災学習講座を実施している。



「食と環境・復興フェア」開会式（OKAYAMA）市民体操実施



「高松中学校区 防災発表会」

## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・住み慣れた地域を文化歴史の面から見つめ直すことで、新たな発見があった。
- ・高松地域以外からの参加者があり、その結果、ふるさと愛、地域愛が一層育まれることとなった。
- ・公民館での活動の成果を広く地域住民等に啓発することで、クラブ活動等が一層活発化した。
- ・回を重ねる意義は、それだけ地域から求められている証であり、多くの方や団体の支えで協力して開催できたイベントとなっている。

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・定期的に行っている主催事業は、多くの参加者があり定着してきている。
- ・水辺教室や寺子屋高松などの子ども向けイベントは充実した内容であり、毎年、多くの子どもたちがイベントの開催を楽しみにしている。
- ・歴史や文化遺産の宝庫であるこの地域にまつわる講座も多く開催しており、高松地域内外から多くの参加者がある。



「ふらっと探訪講座  
一龍王山古墳群の探訪」



「わくわくウォーキング大会」

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・連合町内会長、婦人会長、老人クラブ会長、栄養改善協議会会長、児童委員民生委員協議会会長、地域センター所長、学区内小中学校長・高等学校長、ボランティア代表、クラブ生代表など25名からなる公民館運営委員会を年2回開催している。
- ・各委員から、主催・共催事業や公民館の施設等について事前評価をもらい、事後評価としての意見を多角的・多面的にもらったものを改善、検討し、次年度に向けPDCAを意識した取組となるようにしている。
- ・域内の中学校の地域協働学校運営協議会委員として館長が出席（年2回）しており、生涯学習の視点から意見を述べている。
- ・学校園関係者が年3回集まる機会に、地域における公民館の役割を理解していただくため広報している。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦勞した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・高齢者の割合が多い高松公民館エリアでは、毎年、同じ事業を繰り返し行うことで地域に定着し根付いた行事は少なくない。逆に、新規事業を立ち上げ広報するときに、隔月発行の公民館だよりではタイムリーではなく、大人向けのチラシを学校園を通じて配付することも難しい。また、公民館HPやFacebookなどに頼ることは困難である。（高齢者の場合、IT機器を使いこなせないことが多いため）
- ・地域人材の活用やボランティアスタッフの名簿管理を行う「人材バンク」登録制度を、高松公民館で取り組むことを検討しており、公民館講座やイベントなどでの講師やボランティア確保の改善が見込まれる。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

昨年までは、主催・共催行事やクラブ活動が当たり前の日常として行われてきたが、世界中を震撼させているコロナ禍の中、ITを活用してリモートで講座等を実施して成果を上げている公民館があると聞く。本館が所在する高松地域は高齢化率が約30%、うち要介護認定率は22.3%である。このような状況では、技術革新が進むこの現代社会においても、公民館だより等による行事等の周知やグループ・サークル等のいわゆる口コミによる情報伝達はなくてはならない。「3密」を避けながら、**顔の見える関係を仲立ちする役割**こそが、高松公民館の役割であると確信する。もちろん、ITを活用して地域に行き渡るように情報発信し続けていくのは言うまでもなく、時代の流れに取り残される方を生まないよう、諸行事やイベント、主催講座やクラブ活動を通じた、「人と人との絆づくり」に努めていかなければならない。

【写真：「サロン交流会」：地域のサロン運営者を中心とした学習会 & 交流会】



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

高齢者が地域住民の30%を占める地域で、コロナ禍の中、誰もが気軽にいつでも集える、顔の見合える関係をつなぐ公民館として、果たす役割は大きい。感染対策に取り組みながら何ができるのか、まず、公民館職員が率先して考えることが必要である。

また、公民館が世代を超えた交流の場を提供できるよう、以下のような環境づくりに努めていきたい。

- ① 現在、市で行っている小中学生のボランティアの人材バンクを公民館に置くことで、卒業後も随時連絡をとり、継続したボランティア活動につなげ、将来的にはイベントのスタッフとして運営の中心となる人材を育てる。
- ② 学校園の諸課題解決のため、公民館が地域との仲立ちをすることで、学校園との一層の連携を図る。
- ③ 地域の課題解決のための講師の確保。

【写真「水辺教室～わくわくおさかな調査隊～」：地域の小学生・保護者、中学生（ボランティア）、高校生（ボランティア）、高齢者（ボランティア先生）が共に、自分たちの地域環境について学ぶ体験型講座】





公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 少子高齢化の現状
- 高齢者の知恵や経験を活かせないか
- 子育て世代が住みたくなるような地域づくり
- 美しいふるさとの地域資源を学びに活用

取組

- 学校と連携した郷土学習・農業体験の取組
- 情報発信として、Facebook活用、動画配信、HP随時更新
- 比和自治振興区、社会福祉協議会比和地域センター、庄原市役所比和支所が互いに連携（三者会議）
- 支えあいつくりの集い
- 比和まるごと家族会議を開催
- 比和自治振興計画策定（2018年3月）

取組による成果や効果、大切にしていること

成果や効果

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができました。

- 自治振興センター来館者数増加
  - 令和元年度開催の七夕まつりは延べ200人参加（参加率15%）
  - 講座、イベントに対する高齢者の参加率高
  - 子供から高齢者まで世代間交流が充実
- #つながり #互いの学び #ネットワーク #地域資源

都道府県名	広島県	公民館対象人口	1312人	インターネット接続環境	有						
市区町村名	庄原市	建物設置年月日	昭和63年10月19日	来館者利用可能PC台数	0台						
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（比和自治振興区） <input type="checkbox"/> その他（ ）										
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2944人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6135人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 177人	計	9256人						
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	5人						
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（庄原市自治振興区連合会）										
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他（SDGs、消費者教育、人権教育）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用							
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 図書館</td> <td><input type="checkbox"/> 学校</td> <td><input type="checkbox"/> 生涯学習センター</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> その他（博物館、社会福祉協議会）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 自由記述（ ）					<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	<input checked="" type="checkbox"/> その他（博物館、社会福祉協議会）		
<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター									
<input checked="" type="checkbox"/> その他（博物館、社会福祉協議会）											
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （比和小学校、比和中学校、社会福祉協議会比和地域センター、庄原市役所比和支所、庄原市教育委員会、比和自然科学博物館、共同作業所「ゆめのいえ」、比和温泉施設あけぼの荘、庄原市体育協会、庄原市国際交流協会）										

庄原市比和自治振興センター

OPEN 8:30～17:15

TEL 0824-85-2600

HP <http://www.hiwa-jichi.com>

SNS Facebook





## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 農業体験・郷土学習・他団体と連携した自治振興区を強みとした事業  
比和には美しい自然と貴重な地域資源が多い。学校や地域の保存団体「ヒゴタイの会」と連携し、絶滅危惧種であるヒゴタイについて観察・研究。また、比和川に生息する水生生物について、**博物館と連携**し調査を進めている。内容の特徴は、保育所・小学校、中学校と地域住民が、郷土学習を中心とした地域学校協働学習で“大人が子供に教える”だけでなく“子供から大人が学ぶ場を設ける”など互いの学びによる地域づくりを平成30年度より実践している。歴史について学ぶ、そばの栽培を行う等、子供達への**農業体験・郷土学習**の機会を設けている。
- 他団体と連携した取組（**比和まるごと家族、三者連携**）  
社会福祉協議会、庄原市役所比和支所、比和町内の各種団体と連携し、活動を展開。（たなばたまつり、講演会等を開催）
- 学習の成果を発表する機会を創設  
年度末の3月には「**支えあいづくりの集い**」を開催し、子供と大人が1年を振り返り、学習の成果を発表・披露。世代間を超えて相互に学ぶ場を設けている。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 自治振興センター来館者数増加 ● 郷土愛の醸成
- 活動を支えているのは地域の方であり、応援してくれる人が増える等、活動の輪も広がり、一人ひとりが地域での役割を担うことで意識も変わってきている。

### これまでの取組全体による成果・効果

- 子供から大人までの世代間交流が進むとともに、講座や活動への参加者も増加している。たなばたまつりでは延べ200人が参加。（参加率15%）



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 比和まるごと家族会議の開催（年2～3回）  
町内の各学校、保育所、住民団体等21団体で構成する比和まるごと家族会議を開催し、地域の意見を反映した活動を計画・検証。
- 三者会議の開催（毎月1回）社会福祉協議会比和地域センター、庄原市役所比和支所、比和自治振興区が連携し、地域課題等を検討するとともに、取組の検証・改善を行う。
- 庄原市自治振興区連合会を（年1～2回）、課題解決に向けて協議を行う場を設けている。22振興区の区長で事業報告を行い改善点について話し合っている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 「支えあいづくりの集い」の学習発表は今年度で3年目となるが、学習内容が同じ繰り返しにならないよう工夫をしている。年度末の発表も毎年イベントであるため、発表内容も協議し、総合的な学習の継続に取り組んでいる。また、令和2年度は新たに大学と連携して活動を行うよう検討する等、新たな学びを取り入れるよう進めている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 自治振興区だけでは実現できない事も、三者や比和町内の他団体と連携することで**実現可能**となり得るため、各団体が連携し、協力できる体制づくりを大切にしている。そのためには、**ビジョンを共有**できる場の充実、**集いの継続**が重要となる。また、活動にあたっては、地域の課題やニーズに対応した町民が自分の事として考えられる活動を講座等のアンケート結果を基に、企画するよう努めている。
- 情報発信の充実  
Facebookや自治振興区HPを活用し、活動の動画をupする等、様々な情報を随時発信している。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 人口が減少していく中で、今後は持続可能な活動が重要となる。地域資源を活用した郷土学習や農業体験はもちろんのこと、博物館を活用した様々な講座や活動を展開していきたい。また、講座や行事では、高齢者の参加率が高く、意欲・関心も高い。引き続き、高齢者の健康づくりに関する講座を実施するとともに、高齢者の知恵や消えゆく技術を共有し・保存していきたい。



# 二人三脚で、地域の未来に向かって、汗をかこう。

周南市 三丘市民センター

## 公民館の取組概要・経過

＜きっかけ＞ ●地域児童数の減少  
 ●少子高齢化に伴う地域の人材不足・連帯感低下  
 ●現役世代が、社会教育への無関心となりつつある風潮  
 ＜取組＞ ●コミュニティ協議会事業“子どもの数を減らさない”をテーマとした「みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト」  
 （下記4部会）支援  
**定住部会：空き家を活用した移住促進と空き家管理活動**  
**産業部会：三丘の資源を生かしたPR活動、イベント活動**  
**環境部会：徳修館裏山の公園「三丘ゆめ広場」整備**  
**学校部会：学校教育に係る地域のサポート体制整備**  
 ●市民センター学級に**健康マージャン**等新コンテンツ導入  
 ●市民センターだよりを興味を引きやすい**見開きタイプ**に変更し、タイムリーで効果的な地域情報を掲載して全戸配布

## 取組による成果や効果、大切にしていること

●「みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト」  
 定住部会：移住可能な空き家、親・子ども数が増加  
 産業部会：特産品、地域PR機会が増加  
 環境部会：子どもの遊び場、地域内外の交流の場ができた  
 学校部会：地域づくり・防災を網羅した学校教育の充実  
 ●センター新規利用者増加に伴う地域人材の新規獲得  
 #変化 #主体的に動く #地域活動の拠点 #二人三脚で #地域に支えられている #感謝の気持ちを忘れず



都道府県名	山口県	公民館対象人口	1519人	インターネット接続環境	無	
市町名	周南市	建物設置年月日	平成3年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市地域振興部地域づくり推進課 )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 570人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 698人 ( 周南市選挙等 )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 14669人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 320人	計 16257人			
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計 3人			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市町予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民センター連絡会議 )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 空き家を活用した移住・定住促進活動 )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 毎日のように子どもたちが集まって、おもちゃや宿題を見せにくる、開かれた市民センター )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 三丘小学校、熊毛中学校、熊毛北高校、徳山大学、三丘保育園、“ほっと三丘”コミュニティ協議会、三丘地区自治会連合会、“自主防災協議会、“校外育成協議会、三丘スポーツ振興会、三丘校区放課後子供教室、徳修館顕彰保存会、machi-mori有限責任事業組合、周南市教育委員会 等 )					

### 周南市三丘市民センター

OPEN 8:30~22:00

TEL 0833-92-0177

H P <https://www.city.shunan.lg.jp/map/mitsuo.html>

SNS



**特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。**

●「ほっと三丘」コミュニティ協議会主催事業「みつおずと子どもがいるまちプロジェクト」  
 平成26年、移住者からの「子どもの同級生は何人いるのか？」という質問をきっかけに、調査した所、わずか10年で、小学校児童数が100人→60人（40%減）となっていたことが判明し、「子どもの減少と地域の在り方」を地域課題として、本事業を上げた。全ての活動の目標を「ずっと子どもがいるまち三丘であるためにどうするか？」の1点に絞り、定住、産業、環境、学校の4部会に分けて各自活動を進めている。（空き家活用の移住促進、特産品開発・新地域イベント創出、新公園「三丘ゆめ広場」整備、地域密着した学校教育展開 等）年2回、全体会にて、情報共有・意見交換を行いながら、市民センターを拠点に本事業を継続中。

●市民センター学級「ふくふく学級」  
 三丘村時代から、約70年間、生涯学習の場として紡がれている歴史ある学級。より魅力的な学びの場となるよう、座学・外出・体験に分けてバリエーションに富んだ内容を考案・提供。（小学校授業体験、市ポトレース見学、健康マージャン、脳活コミュニティサロン 等）市民センター新規利用者の増加並びに地域人材の獲得機会の創出。



**公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）**

特徴的な取組による成果・効果

- 移住者増加に伴う地域の親・子ども数増加
- テレビ・雑誌等メディアによる地域PR機会増加
- 地域情報発信の拠点となるコミュニティカフェ「タベルナタバタ？」オープン
- 上記プロジェクトを通じて、できた住民同士や学校とのつながりが、地域づくりへの参画機会増加と主体性の実現につながった。
- 学級講座を通じて、新規利用者増加並びに学校のつながりや地域人材獲得につながった。

これまでの取組全体による成果・効果

- 市民センターと地域の距離がとて近くなり、地域活動の拠点として重宝されている。



**取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。**

- コミュニティ協議会役員会を活用して、地域づくり・生涯学習活動を行う者等10名程度で構成する市民センター連絡会議を年間1～2回開催し、市民センターの円滑な運営を図る為、事業計画、地域の現状・課題等必要事項について協議を行っている。
- 上記プロジェクト全体会にて、年2回協議並びに、コミュニティ協議会総会にて地域住民への報告・助言を頂いている。
- 市民センター学級生へ、年度末にアンケート実施、意見交換を行うことで、次年度の講座内容に学級生の思いを反映している。

**新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。**

- 地域づくり等の活動について、一部の限られた者のみが活動を行っている状況であり、人材不足が懸念されている。そのため、上記活動や地域行事（三丘徳修館まつり、資源回収、ウォーキング大会等）を通して、参加してくれた方々や移住者と積極的に関係構築しながら、講座やボランティア活動等への参加を促し、結果、三丘市民センター関係人口の増加につながった。
- 地域人材の高齢化が進んでおり、若い人の参加を促すことを急務として、今年度より、小学・高校生のリーダーシップ研修「三丘子どもまちづくり塾」並びに三丘徳修館まつりジュニアチームを立ち上げた。

**公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）**

特に心がけているのは、「**変化を見極め、主体的に動くこと**」であり、地域の小学校児童数がわずか10年で40%も減少する等、5～10年も経つとガラリと状況が変わる世の中、生き残っていくために求められるのは、**時代の変化を冷静に見極め、受け止め、常に主体的に動くこと**ではないかと考える。地方分権、行政主導で対応できない問題の複雑化が叫ばれる中、市民センターとして求められる役割は地域活動拠点として、地域と**二人三脚**で一緒に汗をかいて取組むことではないかと考える。

特に、市民センターは、利用者及び地域によって支えられているのであり、**感謝の気持ちを忘れず、地域のために何ができるかを念頭において仕事に取り組むこと**が大切である。



**最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。**

市民センターを地域活動拠点としながら、地域が自立して主体的に取り組む体制を理想とし、実現に向けて支援を図っていく。そのためには人材育成が重要課題であり、地域参画のきっかけづくりとして、目を引くようなイベント・講座等を市民センターとして積極的に打ち出していきたい。また、地域の自立に向けて、地域SNSの導入を検討しており、気軽な情報交換・共有を可能とする他、①コミュニティネットワークの強化（イベントボランティアの呼びかけ、人材マッチングの容易化）、②地域メディア化（地域だよりやイベント周知の電子化）、③地域防災・減災（即時性のある情報発信・共有、被害状況把握）の効果が期待できる。

また、市民センター利用者の増加を図るため、学級にて実施している健康マージャンについて、定期利用団体化を検討しており、三丘地域に住民の娯楽の一つとして根付かせたい。



# みんなが主役 いきいき公民館

# 阿南市宝田公民館



こども茶道教室



常会親睦カローリング大会(小学校体育館にて)

## 公民館の取組概要・経過

- きっかけ  
地域住民同士の結びつきの希薄化  
イベント参加者が偏りがちな傾向
- 取組  
小学校、保育園、認定こども園、町内各団体との連携  
子どもから高齢者まで、世代間交流の促進

## 取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取り組みを通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- こども茶道教室を通じて、文化祭茶席における世代間交流
- 全町運動会での児童・地域住民一体となった種目の導入
- カローリング大会への幅広い年代層の参加

# 世代間交流 # 親しみやすい公民館 # ふれあいの場

都道府県名	徳島県	公民館対象人口	2,998人	インターネット接続環境	有
市区町村名	阿南市	建物設置年月日	昭和56年7月25日	来館者利用可能PC台数	無
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 229人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16876人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 500人	計	17605人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	3人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (宝田小学校、宝田こどもセンター、阿南光高校、宝田セニヤクラブ連合会、宝田地区社会福祉協議会、阿南市人権教育協議会宝田支部、宝田体育協会、宝田地区民生児童委員協議会、宝田町内常会など)				

## 阿南市宝田公民館

OPEN 8:30 ~ 22:00

TEL 0884-22-0234

H P <http://www.kominkan-anan.jp/takarada>

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

各主体事業の実施にあたっては、小学校をはじめ、保育園、認定こども園のほか、体育協会、地域協議会・常会、セニヤクラブ、民生児童委員協議会等と連携している。

例えば、宝田全町・小学校合同運動会では、運動会での実施種目にはじまり、運営方法、競技ルール、参加賞の購入、駐車場の確保など多岐に渡る協力体制を築いている。

また、宝田町文化祭では、地域住民だけでなく、協力関係にある認定こども園、保育園、小学校に対しても作品の出展依頼を行っている。園児・児童・生徒の作品を展示することにより、来場者の増加に繋げている。



宝田町文化祭(作品展示会)

## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

### 特徴的な取組による成果・効果

こども茶道教室を受講した小学校児童が、成果の披露の場として宝田町文化祭のお茶席の手伝いに参加し、世代間での交流がなされた。

### これまでの取組全体による成果・効果

上記以外にも、河川敷の清掃やふれあいハイキング等のイベント毎に、世代間での交流が行われる流れができてきている。



宝田町文化祭(お茶席)

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

各事業への参加者、各種団体、地域住民からの意見や要望を聞き取り、自己点検・評価を行っている。改善点が出た場合には、次期への事業にフィードバックされるよう心掛けている。

また、公民館運営審議委員会にて事業報告を行い、各委員からの意見を頂くことを通じて、改善に繋げている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

例えば茶道教室では、講師や助手をしてくださる方々の高齢化等、今後に向けての課題はあるが、文化の継承および地域内の世代間交流のための場を提供するという意味でも、今後もできる限り継続して開催できるようにしたい。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

平時の公民館貸館においても、**幅広い年齢層**の利用に対応できるようにしている。

また、宝田公民館だよりを毎月発行し、公民館諸行事の他、地域内各種団体の活動状況や地域行事の紹介等の情報について、できる限り写真を交えて**親しみやすい**記事を作成し、多様な利用者の参加促進を図っている。



宝田町文化祭(芸能大会)

## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

これまでの事業を継続しつつ、新たに公民館事業を支えて頂くボランティア隊員と連携することで、イベントへの参加者増加を図りたい。地域の幅広い年齢層の方々の交流の場を引き続き提供するためにも、今後も事業を持続可能な体制を整えていきたい。



クリーン作戦(河川敷清掃)

# まずやってみよう！～住民が主役～

## 宇和島市立和霊公民館



### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

- 南海トラフ大地震の発生が危惧されているなか、地区によって防災の取り組みにばらつきがあり、校区全体での取組の必要性を感じていた。
- 防災士の活躍の場がなかった。

#### 取組

- H27から市、消防署等と連携し、校区全体の防災研修会を実施→昨年度、宇和島市で地区防災計画のモデル地区に指定され、自治会、防災士連絡協議会、公民館が中心となり小中学校も巻き込んで、年間計画素案の作成に取り組む。(R1)
- 校区在住の防災士全員に研修会への参加を呼びかけ防災士同士や地元団体との繋がりがづくりに努める→地区防災計画事業の実施に合わせて「和霊校区防災士連絡協議会」発足。

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。
- 地区防災計画事業の最初に一般住民の勉強会を実施し、従来の講座では異例の約100名が参加、関心の高さが伺えた。
  - 住民の防災意識の向上と同時に異世代の交流が生まれた。
  - 改めてコミュニティのあり方を考えるきっかけとなった。
  - 和霊校区防災士連絡協議会発足
- #和霊校区地区防災計画 #まずやってみよう！**  
**#和霊校区防災士連絡協議会 #住民が主役**

都道府県名	愛媛県	公民館対象人口	7790人	インターネット接続環境	無
市区町村名	宇和島市	建物設置年月日	令和元年11月5日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 197人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10229人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2621人	計	13047人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	3人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 不定期(主に夏休み)で子ども教室開催 )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( R1に住民の意見を取り入れた公民館が完成し、新しい校区の拠点となった )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 和霊校区連合自治会、和霊地区地域づくり協議会、和霊地区社協、和霊校区連合愛護会、宇和島市食生活推進協議会和霊支部、和霊小学校、城北中学校、宇和島市教育委員会、宇和島市危機管理課 )				

### 宇和島市和霊公民館

OPEN 8:30～22:00

TEL (0895)22-0416



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 住民が活躍できる場づくり

### 地区防災

愛媛県の支援もあり和霊校区でも数年前から防災士の数が増え、現在74名が在住しているが、その力を発揮する場面がなかった。また近年南海トラフ地震の発生が危惧されていることもあり、5年前から防災士に呼びかけて校区単位の防災研修会を始めた。市役所、消防署等と連携し連合自治会（自主防災会）、公民館が中心となり、年に1度は大規模、または小規模の研修会を実施し、住民の防災意識の啓発と交流、防災士同士の繋がりができた。

### 各団体との連携

宇和島市食生活推進協議会和霊支部では食生活改善や郷土料理の伝承に取り組んでおり、子ども教室や男の料理教室で、おやつ作り・郷土料理や栄養バランスを考えた料理の指導に当たってもらっている。また、愛護会とは長年共催事業等で協力して児童の健全育成に努めており、少子化等による会員減少についても相談に応じている。

(写真：男の料理教室)



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 防災事業に取り組んできた結果、令和元年度宇和島市の地区防災計画のモデル地区に指定され、防災士の活躍の場が広がるとともに、小中学校を巻き込んでの事業展開を行い、防災で地域に「つながり」が生まれた。

- 念願であった防災士連絡協議会が発足、自主防災会・公民館との連携が期待される。

### これまでの取組全体による成果・効果

- 世代間交流が進み、公民館の認知度も上がった。

(写真：子どもたちの防災まち歩き)



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 関係団体(自治会・小学校・PTA・愛護会・地区社協・地域づくり協議会)の代表者と学識経験者10名で構成する公民館運営審議会を年間7回程度開催

- 運営協議会を事業の前後に開催し、前年度の反省を踏まえ検証・改善を行っており、PDCAを意識した公民館運営を行っている。また、校区に関する多様な意見を出し合いながら、公民館として取り組めることがないか検討している。

- 地域学校協働活動については、校区内の和霊小学校運営協議会で行っている。(館長、主事が委員として参加)

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●防災事業を行うなか、各地区の防災意識や結束力にばらつきがあり、参加率に差があるという問題が浮き彫りとなった。今後どのように地区の足並みを揃えていくのかという課題を抱えるなかで、「地区防災計画事業」がコミュニティのあり方を考えるきっかけにもなった。今後地区防災計画を更新していくうえで、平素から住民が積極的に地域に関わり新たな交流が生まれるように仕掛けていきたい。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

「まずやってみよう!」「住民が主役」を合い言葉に事業の展開を図っている。これまで続けてきた事業「市民運動会」「どんど焼き」等では各団体や住民代表による実行委員会で意見を出し合い、伝統を継承しながらも参加者の意見を取り入れて時代にあった形に変化させてきた。新事業を始める際にも多様な意見を取り入れながら実施し、時には失敗もあるが、失敗は成功への近道と考えそれを糧として次へと繋げてきた。公民館は地域と共に歩み**主役である住民**に寄り添う**黒子**であり続けたいと考えている。(写真：どんど焼き)



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

昨年度改築移転したことで、以前より格段に利用しやすくなったため、新規利用団体が増えている。このチャンスを逃さずに人材発掘や連携の道を探りながら、和霊公民館の新たなスタイルを築いていきたい。また、防災と並んで「地域づくり」という課題があり、数年前から「和霊地区地域づくり協議会」(公民館主事も担当職員で参加)と協力して地域の活性化を図っている。その一つに特産の柿を使つての加工品の開発という目標があり一昨年から県内の団体等の視察を始めた。地域の高齢化等課題は多いが、諦めずに次の世代へ引き継いでいきたいと考えている。(写真：落成記念式典でのもちまき)





### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけと取組

- ・五明地区は松山市の中山間部に位置する小さな地域
- ・人口減少・少子高齢化が激しい・・・
- ・このままでは地域存続の危機！？
- 地域のつながり創出と郷土愛の醸成が必要！**
- ・地域内外から人が集まる盆踊り大会を地域一丸となって開催
- みんなが五明地区を想う大切な時間！**
- ・地域への興味・関心を持たせるため、子どもの活動にも注力
- ・公民館行事のオープニングで、伝統芸能を披露
- 伝統芸能で地域への愛着と世代間交流のきっかけづくり！**
- ・地域資源を活かした事業の開催♪
- 郷土愛の醸成→学習意欲の良いスパイラルを目指す！**
- ・人手不足解消のため、大学生に協力依頼♪
- 大学生をきっかけに地域の若者に火をつけていきたい！**

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・地域団体・学校・民間企業のつながりが強くなった。
- ・地域で子どもを育てる環境がさらに整った。
- ・子供の地域住民への愛着が生まれた。
- # 地域のつながり # 縦横ななめ
- # 子どもの成長 # 地域の宝

都道府県名	愛媛県	公民館対象人口	544人	インターネット接続環境	有
市区町村名	松山市	建物設置年月日	昭和27年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1030人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 350人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 605人	計	1985人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人	計	4人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 景観になじむ木目調の外観をしたアットホームな公民館 )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 幼稚園、小学校、中学校、各PTA、おやじの会、放課後子ども教室五明っ子、牧病院、五明苑、エリエールゴルフクラブ、五明生活ストア、野外活動センター、まちづくり協議会、自主防災組織連合会、消防団、女性防火クラブ、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、スポーツ協会、愛媛大学社会共創学部、愛媛大学防災リーダークラブ、溝辺ふれあいセンター、松山東消防署、伊台駐在所、第1ブロック公民館(伊台・湯山・日浦)、泊公民館 )				

松山市五明公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 089-977-6152



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

五明地区は松山市の中山間地域にある小さな地域で、昭和56年には人口1,000名ほどの地区だったが、現在約半数の550名ほどに人口が減少し、少子高齢化が進んでいる。今後、地域の存続も危ぶまれるため、五明公民館では地域を盛り上げようと、地域内のつながり創出・郷土愛の醸成に力を入れて、活動をしている。まず、地域内で一番大きな事業である盆踊り大会では、まちづくり協議会等の地域団体、小学校、民間企業と協力して、まさに地域が丸一となって開催している。毎年、日にちを8月14日に固定して開催することで、地域住民だけでなく、地域外へ転出した家族なども集まり、集まったみんなが五明地区を想うことのできる大切な事業になっている。また、高齢者対象の活動だけでなく、子ども対象の活動にも力を入れ、地域へ興味・関心をもってもらえるように努めている。例えば、公民館行事のオープニングで毎年4回、地域の伝統芸能である五明太鼓を小学生に披露してもらっている。伝統芸能に触れさせることで地域への愛着を育んでいる。地域住民にとっては、伝統芸能を共通の話題(きっかけ)として、関りをもつことができている。さらに、ほたるまつりや環境学習会では、五明地区の地域資源であるほたるや豊かな自然環境を活かして行うことで、郷土愛を育み、学習意欲へつなげる良いスパイラルを目指している。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・各種団体・小学校・民間企業のつながりが強くなり、他の行事などでも協力できている。
- ・地域で子どもを見守り育てる環境ができている。
- ・子どもの地域住民に対する愛着が生まれた(地域の方を「〇〇さん」と名前と呼ぶなど)。

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・講座では地域住民が講師となることもあり、知識も交流も深まっている。
- ・住民のほとんどが顔見知りの関係



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

3月に公民館運営審議会を開催し、次年度の事業計画及び予算案について審議している。事業運営は成人教育部、高齢者教育部、女性教育部、啓発活動部が集まって毎月合同部会を開催し、3か月先までの事業企画・運営や先月の事業の反省を行っている。また、大きな事業では、事業推進委員会(本館・分館・区長会・まちづくり協議会・社会福祉協議会・PTA・女性防火クラブ)で企画・運営を行っている。終了後は、事業について反省会を行い、次年度の事業に活かしている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

現在、高齢化が進み人手不足に苦労しており、このままでは事業の継続が不安視される。小学校と合同の運動会では愛媛大学の防災リーダークラブに運営の手伝いと、競技にも参加してもらうことで人手不足の解消と賑わいが生まれた。今後は大きな事業では、愛媛大学の社会共創学部にも協力を依頼しており、運営面だけでなく、地域の若者が良い影響を受けることも期待している。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

五明公民館では、**地域のつながりと子どもの成長**を大切にしている。今まで地域を支えてきてくれた高齢者が生きがいを持ち、小さな地域だからこそみんなで力を合わせ、より良い地域にしていくという**横のつながりづくり**。人口減少で少子化が進み、地域の子どもの数が少なくなっている中、地域外から通っている園児・児童も含めた地域の宝である子どもたちを、地域のみんなで育てるとい**縦やななめのつながりづくり**を大切にしている。そのために、地域団体や幼稚園・学校等の団体間の連携を強化できるように努めている。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

今後予測されている人口減少により、公民館事業の継続が難しくならないように、若い力が必要になっている。現状は大学生の協力で事業を継続できているが、今後は地域の若者の頑張りが必要不可欠であるとする。大学生の活動をきっかけに、地域の若者にいかに火をつけていくかが最重要課題である。地域住民みんなで、地域の現状と課題を見つめ直し、話し合いを重ねながら、地域活動に若者が参加しやすい環境、地域外からも若者が入ってきやすい環境づくりを進めていきたい。



愛媛大学防災リーダークラブ

# 誰もが集う 地域のオアシス

## 今治市関前開発総合センター



### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

- 住み慣れた町で暮らし続けたい地域住民の願い
- 少子高齢化社会に向き合う地域づくり
- 地域外の大学生との交流

#### 取組

- 学校との連携  
小・中学校の児童生徒も全員参加の「ふれあい事業」の実施による、学校・家庭・地域住民との連携・協働
- 地域福祉との連携  
「安心して・楽しく・自分らしく」を目指した、「地域づくり事業」や「関前塾」への参加
- 開かれた施設  
地域住民の活動拠点として、利用者の思いや願いに寄り添う、休館日（土・日・祝日）の利用

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 子どもから高齢者まで、誰もが集い、つながる地域
- 学校・家庭・地域が一体となった連携・協働の推進
- 地域福祉との連携による、町で暮らし続ける「拠点」づくり
- 過疎化・高齢化の中、地域の良さを見直すきっかけづくり
- 休館日の利用促進による、地域コミュニティの構築

# 子どもから高齢者まで # 学校・家庭・地域が一体  
# 町で暮らし続ける # 地域の良さを見直す

都道府県名	愛媛県	公民館対象人口	384人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	今治市	建物設置年月日	S55年3月31日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 921人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2583人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1399人	計	4903人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 登録団体が使用申請した場合に限り、休館日の使用を認めている。 )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 岡村小学校、関前中学校、開発総合センター登録団体 (今治市社会福祉協議会関前支部、越智今治農協女性部関前支部、今治市連合婦人会関前地区婦人会、姫子窯陶芸教室、ワンモア、生花さくら会)、広島国際大学 )					

### 今治市関前総合開発センター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0897-88-2211



**特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。**

- ふれあい事業  
小・中学校の児童生徒が全員参加する「ふれあい事業」の実施により、学校・家庭・地域との連携・協働を目指している。
- 地域福祉との連携（今治市社会福祉協議会関前支部による地域づくり事業）  
子どもから高齢者まで地域住民一人一人が、これからの関前地域を担う一員として「安心で・楽しく・自分らしく」生活していくためのきっかけづくりを目的に取り組んでいる。  
○認知症の方と共に暮らす島づくり事業   ○安心して楽しく老いる島づくり事業  
○福祉の学び推進事業                           ○地域課題の掘り起こし強化事業
- ワークショップ『関前塾』  
広島国際大学の学生に地域の実情を知ってもらい、地域住民とともに、「今後の地域や自分たちのあり様」「過疎化・高齢化による現実」を見極めながら学生たちとともに学習する交流の場を提供している。（休館日開館）



**公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）**

特徴的な取組による成果・効果

- ふれあい事業により、学校・家庭・地域が一体となった連携・協働を推進できた。
- 地域福祉との連携は、町で暮らし続ける「拠点」づくりとして有益であった。
- 地域内外の多様な人との交流は、過疎化・高齢化による現実の中から地域のよさを見直すきっかけづくりとなった。

これまでの取組全体による成果・効果

- 人口減少とともに、高齢化によるひとり世帯が増えつつあるが、子どもから高齢者まで、誰もが公民館を利用し参加できることで、皆が元気でつながり会える地域となっている。
- 登録団体や利用者の思いや願いの実現のため、休館日にも利用していただき、つながりを深め、互いに助け合うことのできる地域コミュニティの構築につながっている。



**取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。**

- 学識者や自治会関係者、施設利用登録団体代表者等10名で構成する公民館運営審議会を年間2回開催している。
- 公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を議論、多様な意見等(利用者アンケート調査)を踏まえながら検証し、PDCAを意識した公民館運営を行っている。

**新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。**

- 人口減少、少子・超高齢化社会の中で、住み慣れた町で暮らし続ける「拠点」として、積極的な公民館事業を展開してきた。また、地域住民が自らの思いや願いを実現できる公民館を目指して、オープンな館として運営してきた。
- 少子高齢化による利用者の減少は否めない。現状の取組が長く継続できるよう利用者の要望を取り入れ寄り添い、安全で安心して集える館としての整備に努めたい。

**公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）**

- 当施設名称は関前開発総合センターではあるが、公民館としての役割を十分に果たしてきた。職員を含め地域住民一人一人に自分たちの館として、大切に利用していただき、**管理人不在時や休館日の利用促進**が実現できた。
- 行政機関や関係団体等と連携・協働**した運営を大切にしてきた。互いに見守り合うなど、**地域・学校・福祉機関等とのつながり**を深め、いざという時にも互いに助け合うことのできる、ネットワークの構築を今後も継続していきたい。



**最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。**

- 今後も広く地域住民の意見を聞き、状況に応じて各種事業を検証し、高齢化社会の中で一人でも多く、安心して気楽に集まれる館として、地域の魅力を発信していきたい。
- 高齢者にも安心していつまでも利用してもらえる、利用しやすい環境整備が今後の課題である。
- 官民の信頼関係の下、可能な限り、休館日の利用許可を継続し、心の拠り所となる、集える館として継承していきたい。



# 生き生きと楽しい学び舎生楽館、笑顔でつなぐ地域の輪

小郡市のぞみが丘校区コミュニティセンター  
(愛称:のぞみがおか生楽館)



## 公民館の取組概要・経過

- 平成11年のぞみが丘小学校の建設と同時に、市内唯一の小学校施設の中の社会教育施設として開設。移住者が多い新興住宅地という特徴柄、住民同士の関係づくりが求められる中でよりどころ(交流の場)となったのが学校で、地域の輪作りと、人材発掘や活性化、地域の課題に対応することを目的とした事業を展開してきた。
- 平成30年7月より、社会教育法に基づく校区公民館から、地域の「まちづくりの拠点」としてより総合的な活動ができるコミュニティセンターへ移行。事務所併設の「クラブハウス」他、学校施設開放規則を根拠として、音楽室、図工室、家庭科室等の特別教室等の利用ができる。
- これまでにコミュニティセンターを訪れることのなかった世代へ働きかけ、多世代の人が集う「しかけづくり」を行ってきた。

## 取組による成果や効果、大切にしていること

- 多様な主体が地域の事業にかかわり、学校に集まることにより、自然と小学校を中心としたまちづくりが推進されている。
- 利用件数、来館者数の増加。
- 新興住宅の中のコミュニティセンターとして、子どもたちの「ふるさと」をつくることを大切にしている。

#つなぐ、つながる #ふるさと #居場所 #巻き込む

都道府県名	福岡県	公民館対象人口	9496人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	小郡市	建物設置年月日	平成11年2月25日	来館者利用可能PC台数	40台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市 )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1529人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 250人 ( 読み聞かせボランティア打ち合わせ )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12155人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2500人	計	16434人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人	計	4人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( 防犯 )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( のぞみが丘校区まちづくり協議会、のぞみいきいきアンビシャス広場、小学校PTA )					

### 小郡市のぞみが丘校区コミュニティセンター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0942 (75) 6607

H P <http://nozomi-shogakukan.ogori.net/>

SNS





## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### ＜主な事業等＞

・学校施設にある利点を活かし、地域と学校の接続など、地域の特徴と課題を捉えた事業を充実させてきた。例として、コミュニティセンターと地域ボランティアがのぞみが丘小学校の全クラスを対象とした朝の読み聞かせを学校と共催で行っており、令和元年度には年間延べ250名ほどの支援ボランティアが運営に関わった。その他にも、コミュニティセンターのサークル生や地域住民が学校ボランティアやゲストティーチャーとして活躍している。また、のぞみが丘小学校の学校運営協議会、学習参観、土曜授業、人権学習参観、PTA事業の学校キャンプ、餅つき大会等の会議・行事等に、コミュニティセンターの職員が参加し、実施にあたって連携及び協力を行っている。また一方で、コンサートや文化祭等、地域の行事へ、多くの学校教職員の参加、協力があることも大きな特徴である。地域の一大行事である「地域文化祭」「ウォークラリー大会」「どんと焼き」についても、協働のまちづくり協議会をはじめ、PTA、のぞみ小親父の会、のぞみいきいきアンビシャス広場、勝負坂公園を守る会など、地域や子どもたちのために活動するグループと日ごろからコミュニケーションを取ってきたことで、自然と「巻き込み・巻き込まれ」、事業が充実していった。今ではいずれも地域が誇る地域主体の事業として捉えられるようになっている。

### ＜その他の事業等＞

- ・年間100回以上の主催講座等を開催、1500人程の参加がある。
- ・中でも「脳活麻雀のぞみ流」は、主に口コミで評判を呼び、他校区からも多くの参加があり、年間延べ900名以上が参加する人気講座となっている。
- ・毎年秋に行っている「地域文化祭」ではのぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会とコミュニティセンターの定期利用サークルからなる実行委員会が共同で取り組み、地域人口の4分の1にあたる2500人程の集客を誇る地域事業となっている。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- ・コミュニティセンター（以前の校区公民館）の単独主催で始まった事業が、回数を重ねる毎に多様な主体が参画し、「新しい住宅地」における地域の行事として定着してきた。
- ・コミュニティセンターに来たことのない世代への働きかけとして行った主催事業等により、利用人数の増加や来館者の新規開拓を可能とした。

### これまでの取組全体による成果・効果

- ・「地域」「学校」「家庭」「コミュニティセンター」の連携により、地域の事業が発展的・安定的に継続されている。



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

年に一度、前年度の事業報告と今年度の事業計画及びコミュニティセンターとしての運営方針についての説明、意見交換を行っている。また、来館者を対象にとったアンケートを集約し、運営委員会で意見交換を行っている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしているか)を教えてください。

学校施設の中にあるコミュニティセンターであるために、他のコミュニティセンターにはあるような自由に使用できるラウンジや談話するスペースがない。また、学校内という施設の特性上、利用するのに敷居が高いという一面もある。そこで、地域の居場所づくりの一環として、「脳活麻雀のぞみ流」を開始している。もともとは、比較的若い世代の多いこの地域で、介護が必要となる年齢の前に介護予防を楽しみながら行うことや、日々の「行くところ、行く用事」を作ることが引きこもりを防止し、認知症予防の一助になると考えての企画であったが、事前申し込みが不要で、気が向いた時に行くことができる気楽さが功を奏し、これまでコミュニティセンターに来館しなかった住民にも利用してもらったきっかけになり、「気軽に来られる場所」としての認識が広がった。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ・自分を大切にするように、住んでいる地域も大切にしてもらいたい思いで、子どもたちの「**ふるさと**」づくりの一端を担う。
- ・関係者を「自然と」**巻き込む**。
- ・「地域」「学校」「家庭」をコミュニティセンターを中心につなぎ、またコミュニティセンターに集まった人たちが自然と**つながる**ことを大切にしたい。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

学社融合の取り組みを始めて20年が経過し、「学校の中にあるコミュニティセンター」として、地域でもその役割・存在が定着してきている。地域の人々の「居場所」として集える場所であること、そこにいて安心できる場所、自分の経験や力を活かせる場所として、いつでもだれでも集える場所でありたい。また学校の中の施設という特徴柄、児童の保護者、PTA関係者等、通常のコミュニティセンターでは関連が薄くなりがちな世代が多かかっているのも特徴であり、そういう人々が活躍する場であること、ひいてはその人々が今後はまちづくりを担う人材としてつながることを期待をするものである。



# 北波多を遊ぼう！

# 唐津市北波多公民館



## 公民館の取組概要・経過

### きっかけ

- 公民館来館者減少（利用者が一部に限られる）
- 住民の公民館離れ（特に高校生から20～50歳代）
- 核家族・少子高齢・過疎化

### 取組

- 公民館利用に係る地域住民の固定概念打破（規律の中にも緩やかな雰囲気づくり 笑顔の北波多公民館）
- 公民館スローガン ～北波多を遊ぼう！～
- ローカル色豊かな顔の見える関係づくり
- 次世代育成のためPTAへの関わり強化
- 立ち寄り・寄り道ステーション開始（子ども対象）
- 公民館だより紙面のリニューアル
- 特別企画（やってみなけりゃわからない失敗覚悟のお試し実験企画）

## 取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 公民館来館者数の増加（特に子ども）
- 公民館利用者の笑顔が増えた
- 新規サークル活動の増加
- 公民館事業企画の若手新規サポーターが増えた
- いろんな地域の方々に北波多を知ってもらえた

#やわらかい公民館 #社会ニーズの実験室

#人との関わり #失敗をも楽しむ環境づくり

都道府県名	佐賀県	公民館対象人口	4259人	インターネット接続環境	無		
市区町村名	唐津市	建物設置年月日	昭和50年12月12日	来館者利用可能PC台数	0台		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）						
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	494人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	12176人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	0人	計
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3240人	（ 立ち寄り・寄り道ステーション ）			15910人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	2人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人	計
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人	（ 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 ）			2人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）						
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール			
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	（ 出前活動（教育を考える会等） ）					
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター			<input type="checkbox"/> その他（ ）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	（ 規律の中にも「自由でのんびりニコニコ笑顔の公民館」 ）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> NPO			
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
（ 北波多小学校、北波多中学校、唐津市老人会北波多支部、ボランティア連絡協議会北波多支部、北波多地区まちづくり協議会、北波多女性ネットワーク『未来』、唐津市青少年育成協議会、北波多地区社会福祉協議会、唐津市教育委員会 ）							

## 唐津市北波多公民館

OPEN 8:30～22:00

TEL 0955-64-2049

H P

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 北波多生き生き通学合宿塾（運営意識改変 共に学ぶ「みんなの“学び場”」）  
大まかな方針を示してあげて、合宿生活については全て子ども達に任せる。大人は口を挟まない。（子どもは失敗することで学び、大人はその姿を見て子どもとの関わり方を学ぶ）

### 通学合宿での基本理念

- ・子供のスタンス（PDCAを体験することで、いろんな気づきを考えるきっかけ）
- ・大人のスタンス（「答える」ではなく「応える」）

- お試し実験特別企画 北波多を遊ぼう！～公民館deカフェカブ！～  
「こんな遊びを公民館でやっていいの？」「誰も来ないんじゃないの？」等々、懐疑的な意見もありますが、この企画はそもそも「お試し実験コーナー」ということで実施しています。

### お試し実験特別企画での基本理念

- ・実験なので失敗を恐れるな「失敗は当たり前」と考える（気持ち緩～くやってみる）
- ・「“深刻”にならずに“真剣”になれ」（やってみなければわからないを体験する）



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 公民館来館者増加（特に子ども達の利用顕著 特別なことを実施しなくても、自然な形で世代間交流の場が出来上がりつつある）
- これまでの公民館利用方法の固定概念打破（いい意味での、こんなことでもやっていいんだ、やれるんだ感）
- 町の情報発信への関心向上

### これまでの取組全体による成果・効果

- 利用者に、ほんわかムード漂う空気が出てきた ●新規サークル開設増

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 学識者や自治会関係者等 10名で構成する公民館運営審議会を年 4 回開催
- 地域学校協働活動については、各種委員会と協議を行っている（館長が委員として参加）
- 利用者との何気ない会話の中から次につながるヒントを得るよう情報収集脳内アンテナを張っている（超重要）

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 人を集めることに苦労している。定番企画の取組についてはマンネリ化しないように、ちょっとスパイス的なものを加えるようにアイデアを考えている。また、新しい取り組みを行うために人との出会いを大切に、程よい距離感を保ちつつ自分自身の学びを止めないように刺激を受けている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 公民館活動の基本を尊重しながら、かつ、型にはまらない「かたくないやわらかい**公民館**」を心掛けている。  
社会教育機関として公民館活動は、地域に根差す自治活動の最前線として**社会ニーズの実験室**の側面もあるのではないかと個人的に捉えています。また、公民館活動を通して感じていることは、いろんな**人との関わり**の中で育てられている自分に気付くこと。いろんな社会的関係性の中に公民館もあるので、他機関（人）との協力・助け合いが成り立つことを考えて活動しています。また、初めてのことに躊躇することも全てにおいて物事が順調に進むわけでもなく、**失敗をも楽しむ環境づくり**が大切だと考えています。

## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

いろんな意味で縮小傾向にある日本社会において将来の不安からか、元気がなくなってきたように感じています。特に、近年みんなが迷っているのではないかと推察します。

そこで公民館活動の原点を見つめなおし、地域住民の「元気スイッチ」「初めの一步」を後押し出来るような公民館づくりを目指したいと思っています。ただ、これからの公民館づくりの特効薬は「地域に根差した粘り強い地道な活動以外にない」のかな？とも思っていますので、まずは、「元気印は私から！」ということで、地域の方々に失敗を恐れず、気負わず、押し付けず、「いつもそこにある公民館」としての存在にしていきたい。



# 学びを広げる集いの広場 小栗公民館

## 諫早市小栗公民館



消防団・小学校・育友会・自治会・老人会・民生委員・地域の方々等多数のご参加を頂いた「地域で考える防災講座」(気象庁ワークショップ)



公民館図書室の環境整備のボランティアを行っている小栗大学の受講生の皆さん(5年以上継続の方もいらしゃいます。)

### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

- 昭和32年の諫早大水害の経験
- 近年の異常気象と防災上の官民の一体
- 「図書館のまち諫早」の制定

#### 取組

- 防災意識の向上
- 地域との交流
- 家庭教育講座の充実
- 図書ボランティアの養成
- 講座計画のデータベース化
- 公民館情報紙の充実

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 情報の共有化
- 防災意識の向上
- 自助、共助の芽生え
- 読書推進、学びを活かした活動
- ボランティアへの参加意欲の向上
- 図書館活動の技術の習得及び資質の向上
- 地域住民による地域の活性化

#つどう #まなぶ #むすぶ

都道府県名	長崎県	公民館対象人口	9724人	インターネット接続環境	有
市区町村名	諫早市	建物設置年月日	平成20年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2350人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計		2350人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計		4人	
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( SDGs )				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター )				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 諫早市ふれあい施設条例による小栗ふれあい会館を使用して公民館講座を実施。当該ふれあい施設内に公民館図書室設置 )				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO				
	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他				
青少年健全育成会、消防団、子育て支援センターいちご、諫早図書館利用者団体連絡協議会、NPO法人としょかん広場、諫早学校図書ボランティアネットワーク「心のたね」					

### 諫早市小栗公民館

OPEN 8:30~17:15

TEL 0957-22-1533

HP <https://www.city.isahaya.nagasaki.jp>

SNS



# 0歳から97歳までが元気に学ぶレトロな公民館

## 長崎市西公民館



### 公民館の取組概要・経過

#### 背景やきっかけ

- 長崎市の公民館運営方針の刷新
- オリンピック・パラリンピック教育
- 子育て世代の利用減少
- 築48年の老朽化した公民館

#### 取組

- 「認知度を高め、環境を整えて、公民館の利用促進を図る」ことを目指した取組
- 「レクリエーションポッチャ」を活用した講座の開設
- 講座を学習グループと連携して実施することでグループ数、会員数増を図る取組
- 長崎の魅力を再認識する講座「今でしょ長崎」の開設
- 学習グループの成果発表の場「文化祭」の開催運営を公民館主体からグループ会員主体へ変更して開催

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 西公民館来館者数の増加のきざし
- 利用者同士や利用者と公民館の交流が深まり、つながりが強くなった
- 学習グループと公民館の協力体制が強化された

#「また来たい」と思っただけの地域の拠点、西公民館  
#日々改善！日々プチリニューアル！

都道府県名	長崎県	公民館対象人口	51049人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	長崎市	建物設置年月日	昭和47年4月21日	来館者利用可能PC台数	15台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 5344人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 12978人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 18134人 ( 人権研修会39人、図書室11,624人、文化祭他1,315人 )	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計	36456人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 6人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	6人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 ( <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ( )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 長崎大学・長崎県立大学・法務局・長崎県・長崎市朝日校区連合自治会・長崎市西部地域包括支援センター・長崎市西公民館区青少年育成協連絡協議会・長崎県レクポッチャ協会 )					

### 長崎市西公民館

OPEN 9:00~17:00

TEL 095-861-5919

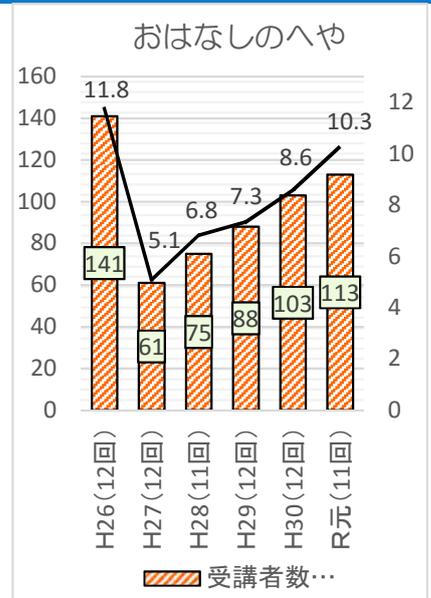
HP <http://www.city.nagasaki.lg.jp>

SNS



**特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。**

- H29年12月に長崎市の公民館運営方針が新しく策定されたため、「認知度を高め、環境を整えて、公民館の利用促進を図る」ことを目指し、新たな取組を加えながら西公民館の運営を行っている。
    - ・情報発信の強化（子育て応援講座「おはなしのへや」を子育て世代が利用するHPで紹介(H30.2月)したところ、2月18人、3月12人と激増、翌年度以降も増加)
    - ・幼児・青少年への遊びの場・学習の場の提供（空き室を開放）
    - ・夜間や土曜日の講座の開設、夜間の利用促進
    - ・環境整備（図書室のリニューアル、図書室と講座との連携、ロビーをくつろぎの空間へ、空調がない玄関ロビーの改善）
  - 「第3期教育振興計画」を踏まえた取組（オリンピック・パラリンピック教育）
    - パラリンピック正式種目「ボッチャ」のルールをアレンジしたユニバーサルスポーツ「レクボッチャ」を活用し、パラ種目「ボッチャ」の普及と地域住民、公民館利用者の健康増進及びつながりの強化を目指し「地域・利用者還元講座」を開設
- ① ボランティア養成講座「「レクリエーションボッチャ」をやってみよう」を開催 参加者11名
  - ② 特別講座「「レクリエーションボッチャ」をやってみよう」を3回開催 延べ参加者43名
  - ③ 特別講座「（館長杯）利用者親睦レクボッチャ大会」を開催
    - 学習グループ、利用者、地域の3名以上でチームを作り対戦 参加者30名



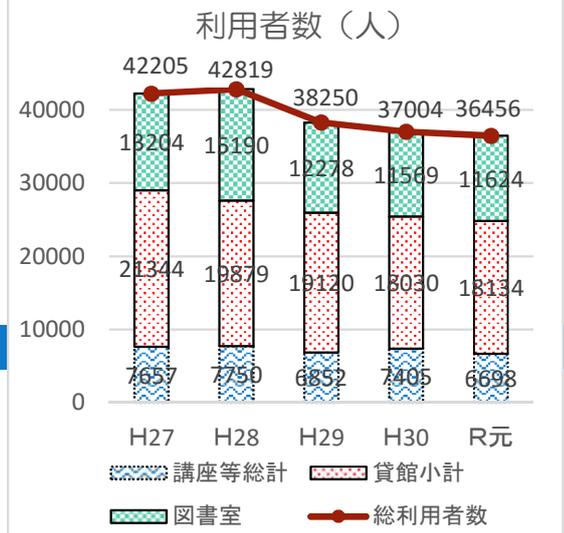
**公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）**

**特徴的な取組による成果・効果**

- レクリエーションボッチャを交流のツールとして活用し、講座を開設したことにより、継続して学習する学習グループが発足し、月2回活動している。

**これまでの取組全体による成果・効果**

- 毎年度利用者数が減少していたが、令和元年度の令和2年2月までは前年度の同時期と比べると約1,200人多い状況だった。3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う講座の中止や利用自粛の要請等により令和元年度全体の利用者は前年を下回ることとなった。



**取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。**

- ・年に2回開催される長崎市民館運営審議会や西公民館運営協力委員会において、取組の報告を行い、意見を頂いている。
- ・講座終了時にアンケートを提出してもらい、検討の参考としている。
- ・公民館の利用者である学習グループ代表者会において意見を聞いている。

**新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。**

令和元年度に引き続き、レクリエーションボッチャを交流のツールとして活用し、親子をつなぎ、世代をつなぎ、地域をつなぎ講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、春の講座や夏休みの講座が実施出来なかった。今後、感染防止策をとりながら継続してレクボッチャができる方法を検討したうえで、地域の方と子どもたちを対象に多世代交流事業として講座を実施したい。

**公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）**

公民館を利用される方に「**また来たい**」と思っていただける公民館、そして、地域の拠点となるため職員一丸となって日々対応している。立地や使い勝手の悪さを克服し、利用者の皆様に少しでも使いやすく、そして、楽しく過ごしていただくため**日々改善！日々プチリニューアル！**実施中。  
ロビーの一部を靴を脱いで座れるくつろぎスペースへ→



**最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。**

昭和47年4月に長崎市の稲佐山山麓に老人憩いの家と併設して開館し、もうすぐ半世紀を迎える西公民館。立地、使い勝手など悪い条件を挙げればきりはないが、全職員前向きな気持ちで気になることを話し合い、改善を続け、これからも、認知度を高め、環境を整えて、公民館の利用促進が図れるよう新たな取組を加えながら利用していただける皆様に喜んでいただけるよう頑張っていきたい。  
利用者親睦レクボッチャ大会→



# 人が集い 人が互いに助け合えば 人が育つ

## 国東市熊毛地区公民館



### 公民館の取組概要・経過

- ・平成18年4町が合併し国東市となる
- ・平成21年度全市の小学校区ごとに公民館を設置
- ・平成21年度8月熊毛地区公民館活動推進委員会発足
- ・委員会は総務、体育、文化、健全育成部の4専門部
- ・6つの行政区が混ざり人的交流のできる組織づくり
- ・公民館活動を知らない地域からの出発、活動推進に苦労
- ・児童から高齢者まで楽しめるメニューが少しずつ定着
- ・熊毛小学校との連携が児童らの参加に大いに役立つ
- ・当地区は芸術家が多く、陶芸教室などの運営に協力的
- ・駐在所や事業所の皆さんもイベントに協賛
- ・児童の参加は、保護者・家族の参加につながり大盛況
- ・地元のための地元の人による手作りの活動がメイン
- ・行事のお知らせや結果は、地域全戸配布の広報誌
- ・特に熊毛地区大演芸祭は地域最大のイベント

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- ・過疎が進行する中で6行政区の交流に意義がある
- ・それぞれの区の歴史にふれ理解し合えるようになった
- ・注連縄教室、陶芸教室などいつも定員オーバーの文化教室
- ・公民館活動経験は、地域のリーダーの人づくりに通じる
- ・公民館活動への参加は、声掛けに尽きる
- ・文化活動が身近になく、ただ働くだけの人生に楽しみを与えた
- ・発足以来委員を務める人も多く、無理しないがモットー
- ・教育委員会主導ではなく、まさに地元手作りの地域づくり

都道府県名	大分県	公民館対象人口	1181人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	国東市	建物設置年月日	昭和62年11月10日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1240人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 3340人 ( 地域支え合い活動 (カフェ、食事会、レク) 2790人 他 )	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 400人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 650人	計	5630人		
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 )	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	2人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館活動推進委員会)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 熊毛地区公民館 ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 会議室 (椅子式、和室) と集会・スポーツのできるホールがあるのが良い )					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( 自治会、NPO (MAKK笑人クラブ)、国東警察署 (交通安全)、熊毛小学校 )					

### 国東市熊毛地区公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 070-2331-0101

HP

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### ●熊毛地区公民館活動推進委員会の設置

地域の皆さんが楽しみ喜ぶ文化活動、交流、健康の増進等を推進するためには、地域の人自ら参画し、声掛けの必要性を強く呼びかけている。熊毛地区公民館活動推進委員会は、自治会、各種団体等から役職指定及び一般賛同者から代表者が選出され、4つの専門部で構成されている。発足当時から続いている『大演芸祭』は文化部が主催し参加者は350人を超える、毎年大盛況のイベントに成長した。（地元手作りの演目だから面白い）

### ●熊毛小学校、熊毛保育所との連携

小学生と保育所園児が文化体験（陶芸教室、しめ縄教室）や健康運動体験（グラウンドゴルフ）などの公民館主催行事に参加する。また、学校行事の運動会、熊毛っ子祭り（3世代ふれあい、児童発表会）には、公民館が協賛で参加している。

### ●高齢者のフレイル予防と健康増進のための軽スポーツや交通安全教室の実施

### ●地域課題への取り組みとして、地域支え合い活動（カフェ、レク、食事会）への支援

### ●伝統文化・祭りなど地域行事への参加



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

- 6自治区の交流が生まれ、独創性、人間性等が交わり、新たな取組につながった。
- 小学校や保育園との連携により、保護者とのつながりが出来てきた。
- 専門部の取組により公民館活動が定着しとことで、賛同者や参加者が増えている。

### これまでの取組全体による成果・効果

- 役職指定で参加していた推進委員にもボランティア精神が少しづつ醸成されている。また、団体活動に参加することは、地域での人づくりに寄与している。
- 高齢者を家ごもりから引っ張り出す行事（バス旅行、グラウンドゴルフ、演芸祭、子どもとの3世代ふれあいイベント）が多く計画され高齢者のフレイル予防につながった。



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 年に一度、熊毛地区公民館活動推進委員会総会を開催し、年間の取組の総括と新たな計画の提案を実施。
- 4つの専門部員60数名は、毎年10数名新規に入れ替わり、新しい意見をくわえた検証・改善を実施。
- 事業実施後アンケートや学校や参加児童への聞き取りによる事業評価を実施し、次年度の事業実施につなげている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 公民館活動への若者や中学生、高校生の参加が少ない。児童の保護者は子どもと一緒に参加することはあるが、全体的に働き盛り世代の参加が少ない。今後はできるだけ休日に開催するメニューや内容を模索している。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

### ●公民館のキャッチフレーズ『人が集い 人が互いに助け合えば 人が育つ』

①まず人を集めること、広報誌頼みでは集まらない。行事の予告、結果は全戸配布しているが、応募の多くが『声掛け』によるもの。特にPTA関係は、一人の先生や保護者に連絡すればすべての人に伝わり効果的。②参加者同士が助け合える関係づくり、ふれあえる仕組みの工夫。名札、自己紹介、イベントの後の食事会などに心がけている。③これらの活動は、地域リーダーなど人づくりにつながると感じている。#声掛け



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 熊毛地区公民館は、小さな分館です。小学校の統合計画年度も示されていますが、この時期だからこそ、地域の多くの世代の人々が一緒に参加できる公民館活動をさらに模索し、行政区を越えた一致団結の瞬間を多く持つことが大切であり、取組を進めていきたい。
- 腰が曲がっても、足腰が痛くても限界集落にならない様に、地域の維持活動を続けている多くの高齢者皆さんのフレイル予防のために健康メニュー（健康グラウンドゴルフ大会）を計画している。
- 田舎の良さは、人との信頼関係、ふれあいです。心の過疎にならないように、そして時節柄『3密は避けても、心の密は持ち続ける』ことを合言葉にしています。



# あいさつと笑顔がいっぱいの伊敷公民館

## 鹿児島市伊敷公民館

### 公民館の取組概要・経過

#### きっかけ

- 少子高齢化による利用者年代の偏り
- 地域住民の交流機会の減少
- 子育てに対する悩みや不安の増加
- 自主学習グループの成果還元機会の減少
- 人づくりの原点でもある体験活動の不足
- 読書ばなれ

#### 取組

- 教育機関(鹿児島県立短期大学・鹿児島県立博物館)や団体(甲突川漁業協同組合・鹿児島市竹産業振興センター読書ボランティアグループ)との連携事業
- 地域交流と人材育成のための「リバーサイドコンサート」
- 「あったかおはなし会」や「hotな読書会」の実施
- 自主学習グループにつながる講座の開設
- 公民館だよりを全ての町内会に配布(1,600部)

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 地域の教育資源の活用と学習効果の向上
  - 公民館来館者数の増加
  - ふるさとの川を愛する子どもの育成
  - 参加者同士の交流による子育ての悩みや不安解消
  - 自主学習グループ数の増加と活動の充実
- # 団体との連携・協働 # 人づくりの原点である体験活動  
# 地域住民が集い学ぶ居場所



都道府県名	鹿児島県	公民館対象人口	50620人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	鹿児島市	建物設置年月日	昭和54年4月	来館者利用可能PC台数	無	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6800人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 41911人 (健康づくり学習室、図書室、ロビー利用者)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 31750人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2421人	計	82882人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 4人)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人	計	7人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (全館バリアフリー 託児室・授乳室 広域図書館(室)連携)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他	鹿児島県立短期大学, 地域内8小学校・4中学校・幼稚園・保育園 甲突川漁業協同組合, 県立博物館, 鹿児島市竹産業振興センター, 伊敷歴史研究会 地域コミュニティー協議会, 読み聞かせボランティアグループ「あったか」	

### 鹿児島市伊敷公民館

8:30~22:00

099-220-1866

H P

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### ●地域の教育的資源の活用

近隣の教育機関や団体等との連携により、地域資源を生かした事業の充実を図っている。鹿児島県立短期大学と連携した「シニア生き生き大学」、甲突川漁業協同組合や博物館と連携した「親子で魚釣り」、「川の生き物さがし」、竹産業振興センターと連携した「親子でミニ門松づくり」、歴史研究会の協力による「薩摩の歴史と伊敷地域」等を実施している。

### ●地域交流と人材の育成

歌い奏でることを通して「よきふるさと」を受け継ぐ態度を育てるため、「リバーサイドコンサート」を実施している。特に、中学生が実行委員を務め、企画や運営を行っている。

### ●読み聞かせ会・読書会による仲間づくり

月1回の「あったかおはなし会」に加え、年2回の高校生以上を対象に本について語り合う「hotな読書会」を実施し、情報交換や仲間づくりの機会をつくっている。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組による成果・効果

●様々な講座は講師の専門性が生かされたテーマ学習になっており、講座をとっても楽しみにしている方も多く学びのきっかけづくりになっている。

●地域の川など、地域資源を活用した体験活動は、子どもばかりでなく大人も学習でき、ふるさとの環境の変化を知り、また、親子や地域住民のふれ合いを深める機会となっている。

### これまでの取組全体による成果・効果

●住民が来館し学習するきっかけづくりになっている。

●図書室来館者数が増加傾向にある。

応募者数（人）

講座名	H30	R1	R2
親子で魚釣り	39	30	66
親子で川の生き物さがし	28	53	43

<親子で川の生き物さがし感想>

- ・いろいろな生き物にふれることができ、とてもよい経験となりました。
- ・楽しかった。川の生き物について説明がありよくわかった。
- ・川の中で石を返したり、植物の下を探ったりすることで、エビやハゼなど捕まえることができてよい体験になった。
- ・甲突川で育ったといってもいいくらい、川になじんでいましたが、本講座で旬いころに戻った気がします。僕たちも大変喜んでいました。

## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

●学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者7人で構成する公民館運営審議会を開催している。

●講師等に事業の現状や課題、改善点等についての多様な意見を聞き、改善を図っている。

●事業ごとに参加者アンケートを実施するとともに、自己点検・自己評価を行い、PDCAサイクルによる公民館運営を行っている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●関係機関・団体等と連携する上で、テーマや内容を調整するのに時間を要する。

●事業の周知については館内掲示や公民館だよりを利用しているが、その他の方法（HPやSNS等）の研究が必要である。

●自然体験活動の講座は、天候に左右され実施の判断が難しい。参加者の安全を第一に判断する。

●講座や自主学習グループなど様々な情報を紹介することで、来館者数の増加につながるのではないかと考えている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

地域にある関係機関との連携を図り、公民館だけではできない多様な講座や自然を活用した講座を実施したい。大学教授等や漁協との連携事業は、この地域だからこそ可能な取組で、地域に一層関心をもつことにつなげていきたい。

各種事業を企画する際は、前年度の成果を踏まえ一旦ゼロベースにした上で、社会教育・生涯学習の充実のために事業改善は常に意識している。

新しい自主学習グループの設立やグループ会員増につながる講座を実施していきたい。



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

地域住民のニーズに応じた講座や関係機関を活用した本地域ならではの魅力ある講座等を継続して開設したい。

館内のギャラリーに学習成果を展示したり、広報紙等を活用して自主学習グループの活動の様子を伝えたりして、生涯学習のきっかけづくりに努めるとともに、地域住民が集い学ぶ場所である公民館を目指したい。

小中学校との連携を深め、児童生徒が公民館に気軽に集い、講座等にも参加したくなる雰囲気をつくるとともに、体験活動を充実させたい。

図書室の利用促進を図り、読書ばなれが解消するよう継続して情報発信に努めたい。



# 鹿屋市花岡地区公民館

## 「気づき 考え 実行する」

# 鹿屋市花岡地区公民館

### 公民館の取組概要・経過

- 管内に所在する教育機関  
小中一貫校の花岡学園（平成25年開校）  
国立鹿屋体育大学（昭和59年度設立）  
国立大隅青少年自然の家（昭和61年開所）
- 講座等への取り組み  
教育環境に基づく講座の開設や行事を実施
- 生涯学習講座  
市民講座、短期講座及び高齢者大学を開設
- 鹿屋寺子屋事業  
平成28年度に「はなおか未来塾」として開設  
学力向上と郷土愛を育むことを目的とする
- 花岡地区生涯学習推進協議会  
生涯学習の振興に資することを目的とする
- 学校応援団  
地域と学校が連携して学習支援等を実施

### 取組による成果や効果、大切にしていること

- 地域の子どもは地域で育てる視点に立った鹿屋寺子屋事業の実施・拡充（町内会主導型を1か所増設）
- 地域住民と児童の交流機会の増加
- 学習成果発表機会、地域と連携した「ふるさとまつり」
- アウトリーチの取組として、バスによる送迎の実施
- 近隣施設の活用（国立大隅青少年自然の家）
- 高齢者のいきがいづくり・絆づくり・健康の保持増進（各種講座の開設）
- 地域資源を生かした公民館活動



都道府県名	鹿児島県	公民館対象人口	3780人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	鹿屋市	建物設置年月日	昭和58年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2033人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 8746人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4265人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 639人	計	15683人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	3人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他（鹿屋市寺子屋事業、学校応援団活動）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設（ <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター） <input checked="" type="checkbox"/> その他（市民課の出張所を併設している。） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（小中一貫校の隣に所在しており、学校帰りに気軽に立ち寄れる場所である。）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 国立鹿屋体育大学、花岡学園（小中一貫校）、花岡地区高齢者クラブ、花岡地区生涯学習推進協議会					

## 鹿屋市花岡地区公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 0994-31-8001

H P <http://www.city.kanoya.lg.jp/c/>

SNS



## 特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

### 特徴的な取組

#### ●中学生と高齢者との交流活動

公民館が実施している高齢者大学や地域の高齢者クラブの方々とは岡学園中学3年生との交流会を毎年実施している。この活動は、学校のカリキュラムにも位置付けられており、学園へ出向いてレクレーションや語り合い等を通して、お互いの交流を深めるとともに、人生の先輩としての生き方や考え方を伝えている。

#### ●鹿屋寺子屋事業

学力向上と郷土愛を育むことを目的として平成28年度から事業が始まった。本館では、「はなおか未来塾」の名称でこの事業に取り組み、原則金曜日の午後に学習活動や体験活動等を通して、花岡地区の未来を担う人材の育成を目指している。教職経験者を指導員として迎え、教職を目指す鹿屋体育大学の学生や地元の方等を補助者として、学習の指導にあっている。令和2年度、新たに町内会主導型を1か所開設し、今後も拡充していく予定である。

#### ●高齢者大学バス送迎

できるだけ多くの方に参加していただきたいが、運転免許を返納するなどし、交通手段のない高齢者が多い。このような現状から、アウトリーチの取組みとして、バスによる送迎を実施している。



## 公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

### 特徴的な取組(鹿屋寺子屋事業)による成果・効果

塾生（児童）が、自主的に学習に取り組むようになった。また、指導員等に質問する姿が随所に見られるなど、学習意欲に向上が見られるようになり、地域の産業や文化を学ぶことで、地域の素晴らしさに気付いていった。さらに、塾生と関わる地域住民の生きがいづくりにもつながっている。

### これまでの取組全体による成果・効果

地元の町内会長や民生委員が、体験活動の講師として多数参加して下さるようになり、塾生（児童）に郷土を知り郷土を誇りにする機会を提供していただくと同時に、交流することで絆づくりや地域の活性化につながっている。



## 取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館運営審議会を開催し、諮問事項を掲げ、委員から意見を聴取し、公民館の運営に生かしている。（年2回、委員の任期は2年）
- 講座の終了後にアンケート等を行い、講座の内容を評価してもらうとともに、開設希望講座等も記入してもらうことでニーズを把握する。
- 次年度実施する講座等へアンケートの結果を活用し、講座開設に生かしている。

## 新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしているか)を教えてください。

高齢者大学へ、できるだけ多くの方々に参加していただきたいが、運転免許を返納するなどし、交通手段のない高齢者が多い。このような現状にかんがみ、アウトリーチの観点から、送迎バスを用意することとし、参加者からは、大変喜ばれている。

地区住民のニーズを見込み新たな講座を開設しても、希望者が思いのほか少ない場合もある。来館者に呼びかけをしても限界があるため、館便りに再掲載したり、町内会放送で呼びかけるなど、幅広い広報に力を入れている。

## 公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 学習成果発表の機会として、地域と連携した「花岡地区ふるさとまつり」の実施
- 参加したくても参加できない人たちのために、**アウトリーチの取組として、バスによる送迎**の実施
- 地域住民の協力や場所の提供等、地域資源を生かした公民館活動
- 近隣施設の活用（国立大隅青少年自然の家）
- **地域の子どもは地域で育てる視点に立った鹿屋寺子屋事業の実施・拡充（R2、町内会主導型を1か所増設）**
- **高齢者のいきがいづくり・絆づくり・健康の保持増進**（各種講座の開設・講座内容の工夫）



## 最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 少子高齢化や高度情報化、国際化等に対応した現代的課題の解決を目指した講座の開設（消費生活、介護、職業能力開発、防災教育 等）
- 学習成果の活用機会の支援  
（同好会会員への学校応援団への協力依頼や高齢者施設等への訪問活動の支援）
- 地域社会活性化の原動力（地域の学習支援・文化活動の拠点としての地域社会づくり）
- 民間事業者とも連携した生涯学習機会の提供
- 町内会主導型の鹿屋寺子屋事業の拡充
- 広報活動の充実（公民館便り、チラシ、ホームページも含めたSNSの更なる活用）

